

新潟市生涯学習市民意識調査
結果報告書

平成 26 年 1 月
新潟市教育委員会

< 目 次 >

はじめに

I 調 査 概 要	1
II 調 査 結 果	7
1 生涯学習活動への関わり	9
(1) 生涯学習活動の現状	9
① 生涯学習活動の実施状況	9
② 生涯学習活動を行う目的や動機	11
③ 生涯学習活動の方法	12
④ 身につけた知識や技能の活用	13
⑤ 生涯学習活動を行っていない理由	14
(2) 生涯学習活動に対する今後の意向	15
① 関心がある生涯学習活動	15
② 希望する活動方法	17
③ 入手したい情報	18
④ 施策への要望	19
【結果考察】	20
2 社会活動への関わり	25
(1) 地域をめぐる状況	25
① 住みやすさ	25
② 地域の課題	26
(2) 社会活動の現状	27
① 社会活動の参加状況	27
② 活動に参加したきっかけ	29
③ 活動してよかったと思うこと	30
④ 活動に参加していない理由	31
(3) 社会活動に対する今後の意向	32
① 関心がある社会活動	32
ア 学校支援に関わる活動	34
② 活動参加の条件	35
③ 施策への要望	36
【結果考察】	37
3 生涯学習施策について	42
新潟市の生涯学習施策の認知状況	42
III 自 由 記 述	45
IV 全 体 結 果 数 表	59
(付) 調 査 票 様 式	69

I 調 査 概 要

1 調査の目的

本市は、平成 22 年 3 月に策定した新潟市生涯学習推進基本計画に基づき、生涯学習施策を展開してきた。策定後 3 年が経過し、この間の社会情勢の変化等を踏まえて、市民の生涯学習活動や社会活動の様子、要望などを捉え、今後の生涯学習推進のための基礎的な資料とするとともに、生涯学習施策に活用することを目的としてこの調査を実施した。

2 調査の設計

- (1) 調査地域：新潟市全域
- (2) 調査対象：平成 25 年 4 月末日現在の住民基本台帳に登録されている
20 歳以上の市民
- (3) 標本数：3,000 人
- (4) 抽出方法：区の人口によって層化し、それらを等間隔にして標本を抽出する
層化系統抽出法
- (5) 調査方法：郵送法（調査票の配布、回収とも）
- (6) 調査期間：平成 25 年 6 月 3 日～6 月 17 日（調査票上の締切日）

3 調査の項目

本調査は、市民の生涯学習活動の現状と意向の把握を中心としているが、特に、生涯学習の成果がどの程度社会活動に生かされているかを重視した。

- (1) 生涯学習活動への関わり
- (2) 社会活動への関わり

なお、調査項目は社会教育委員会議で検討のうえ設定し、分析は下記 2 名に依頼した。

【調査分析検討】

相庭 和彦 新潟大学教授
雲尾 周 新潟大学大学院准教授

4 集計・分析にあたって

- (1) 図表中の「n」とは回答者総数（または該当者質問での該当者数）のことで、100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。
- (2) 数値（%）は小数点以下第 2 位を四捨五入してあるので、総数と内訳の計が一致しないこともある。
- (3) 本文及び図表中、意味をそこなわない範囲で簡略化した選択肢がある。

5 回収結果

区 分		母集団数	構成比% (母集団)	標本数	有効 回答数	回収率%
市 全 体		661,800	100.0	3,000	1,081	36.0
性 別	1 男 性	314,636	47.5	1,453	472	32.5
	2 女 性	347,164	52.5	1,547	601	38.8
	性無回答				8	
年 代 別	1 20～29歳	81,437	12.3	399	93	23.3
	2 30～39歳	107,066	16.2	493	151	30.6
	3 40～49歳	108,672	16.4	494	168	34.0
	4 50～59歳	100,435	15.2	438	191	43.6
	5 60～69歳	117,904	17.8	557	247	44.3
	6 70歳以上	146,286	22.1	619	228	36.8
	年齢無回答				3	
1 北区		62,926	9.5	288	97	33.7
2 東区		113,941	17.2	518	183	35.3
3 中央区		146,099	22.1	655	249	38.0
4 江南区		56,702	8.6	259	83	32.0
5 秋葉区		64,326	9.7	292	112	38.4
6 南区		38,540	5.8	175	65	37.1
7 西区		128,815	19.5	586	221	37.7
8 西蒲区		50,451	7.6	227	67	29.5
居住地区無回答					4	

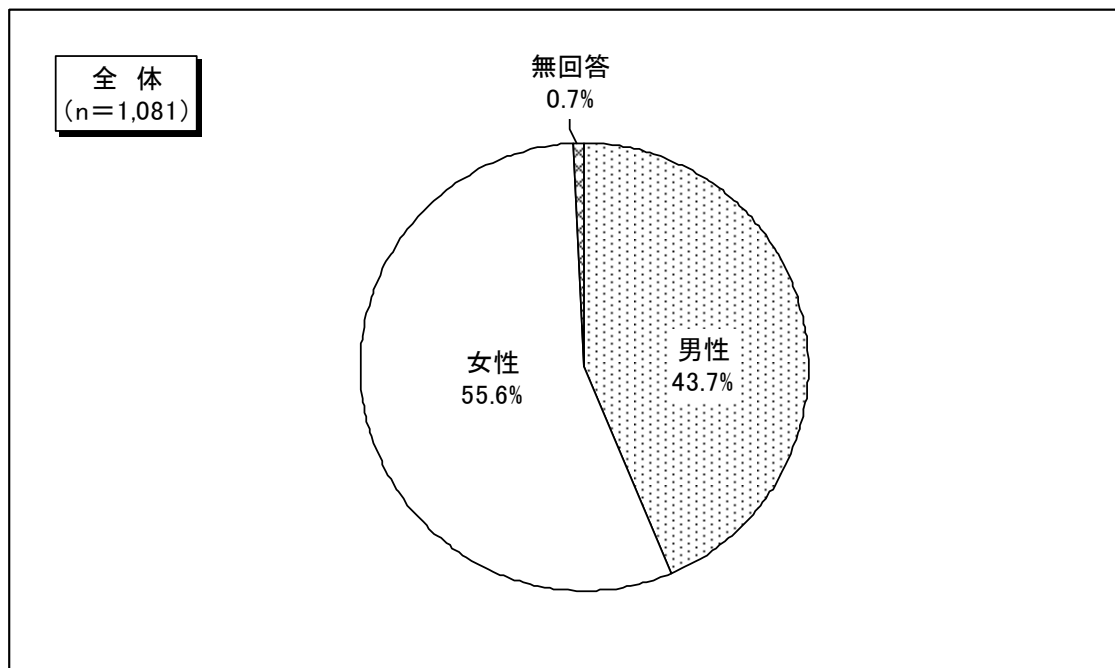
回収率は、男性より女性の方が高い。

年代別では、60～69歳と50～59歳で4割を超える。対して、最も低い年齢層は20～29歳である。

地区別では、西蒲区が最も低い。

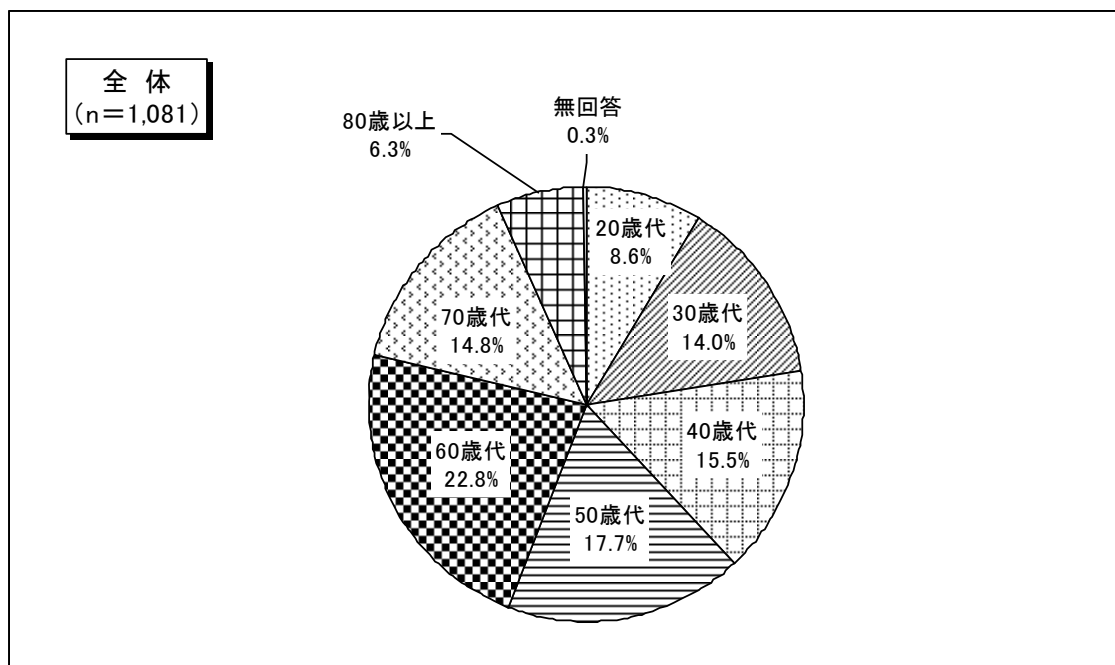
6 回答者の特性 (n=1,081)

◆ 性別



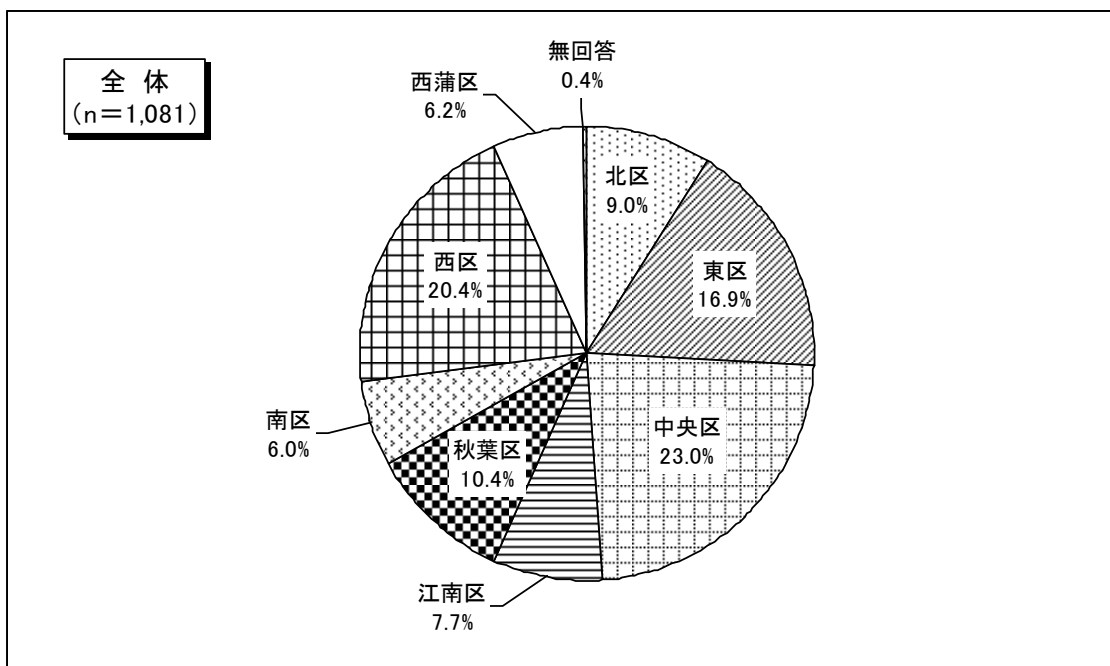
性別では、女性が多く、6割弱を占めている。

◆ 年代別



年代別では、60歳代が4分の1程度を占める。

◆ 居住地区別



居住地区別では、中央区、西区、東区の構成比が比較的高い。

II 調 査 結 果

1 生涯学習活動への関わり

(1) 生涯学習活動の現状

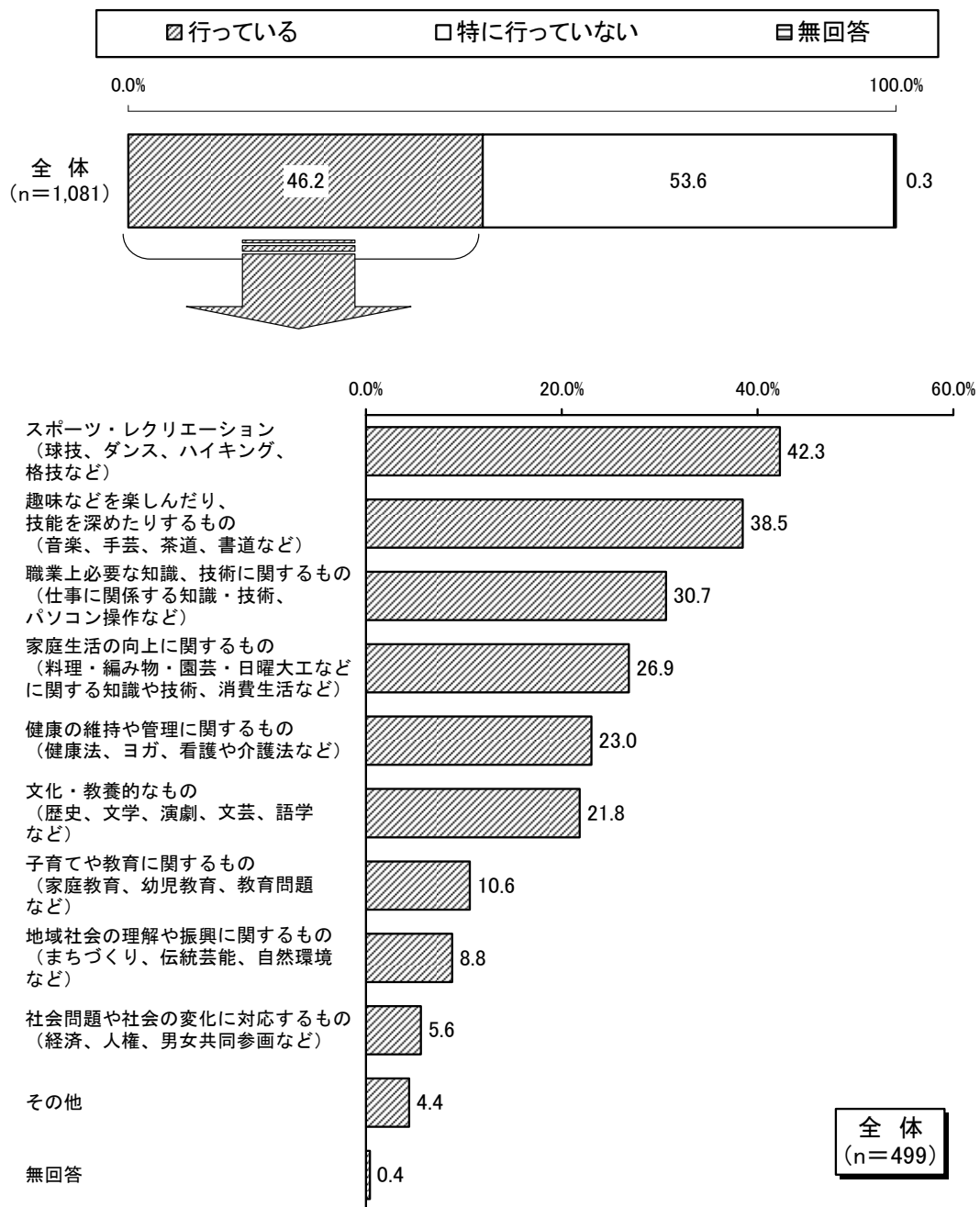
① 生涯学習活動の実施状況

問4 あなたは、何らかの生涯学習活動を行っていますか。

(どちらかに○。具体例は問5の学習内容を参考にしてください。)

(『生涯学習活動を行っている』と答えた方にお聞きします。)

問5 あなたが行っている生涯学習活動は何ですか。(○はいくつでも)



**半数弱が生涯学習活動を実施、
「スポーツ・レクリエーション」活動が最も多い。**

生涯学習活動実施状況と、行っている学習内容について聞いた。

【全体結果の要約】

現在、生涯学習活動を行っている人は46.2%である。

行っている人の活動内容として最も多いのは、「スポーツ・レクリエーション（球技、ダンス、ハイキング、格技など）」で、行っている人の4割強（42.3%）が回答した（対象者全体では19.5%と約5人に1人）。「趣味などを楽しんだり、技能を深めたりするもの（音楽、手芸、茶道、書道など）」が38.5%でこれに次ぐ。

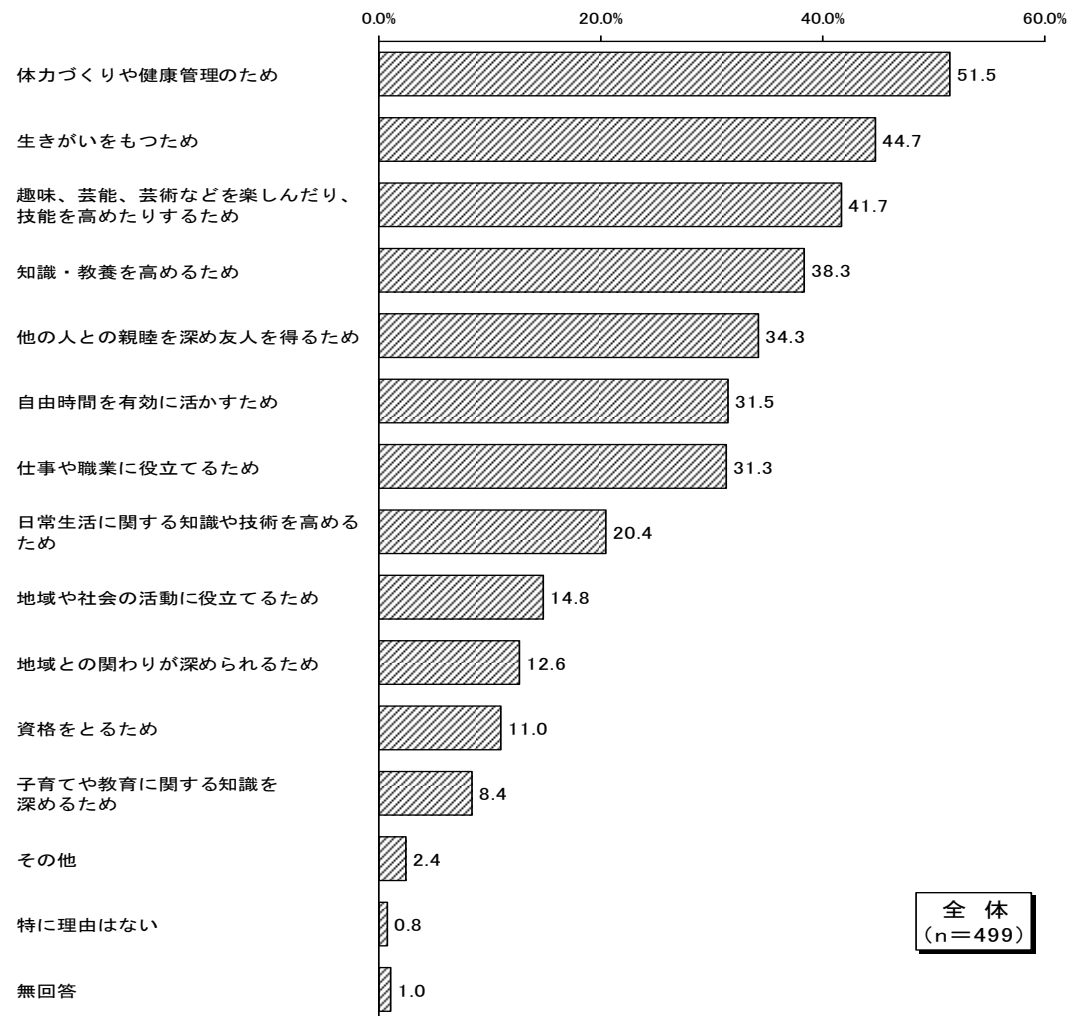
以下、行っている人ベースの回答率3割台で「職業上必要な知識、技術に関するもの（仕事に関係する知識・技術、パソコン操作など）」（30.7%）、2割台で「家庭生活の向上に関するもの（料理・編み物・園芸・日曜大工などに関する知識や技術、消費生活など）」（26.9%）、「健康の維持や管理に関するもの（健康法、ヨガ、看護や介護法など）」（23.0%）、「文化・教養的なもの（歴史、文学、演劇、文芸、語学など）」（21.8%）が続く。

一方で、「子育てや教育に関するもの（家庭教育、幼児教育、教育問題など）」（10.6%）は回答率1割台にとどまっている。更に、「地域社会の理解や振興に関するもの（まちづくり、伝統芸能、自然環境など）」（8.8%）、「社会問題や社会の変化に対応するもの（経済、人権、男女共同参画など）」（5.6%）は実施者が少なく、回答率は1割に満たない。

② 生涯学習活動を行う目的や動機

(『生涯学習活動を行っている』と答えた方にお聞きします。)

問6 あなたが、生涯学習活動を行う目的や動機は何ですか。(〇はいくつでも)



半数強は「体力づくりや健康管理のため」である。

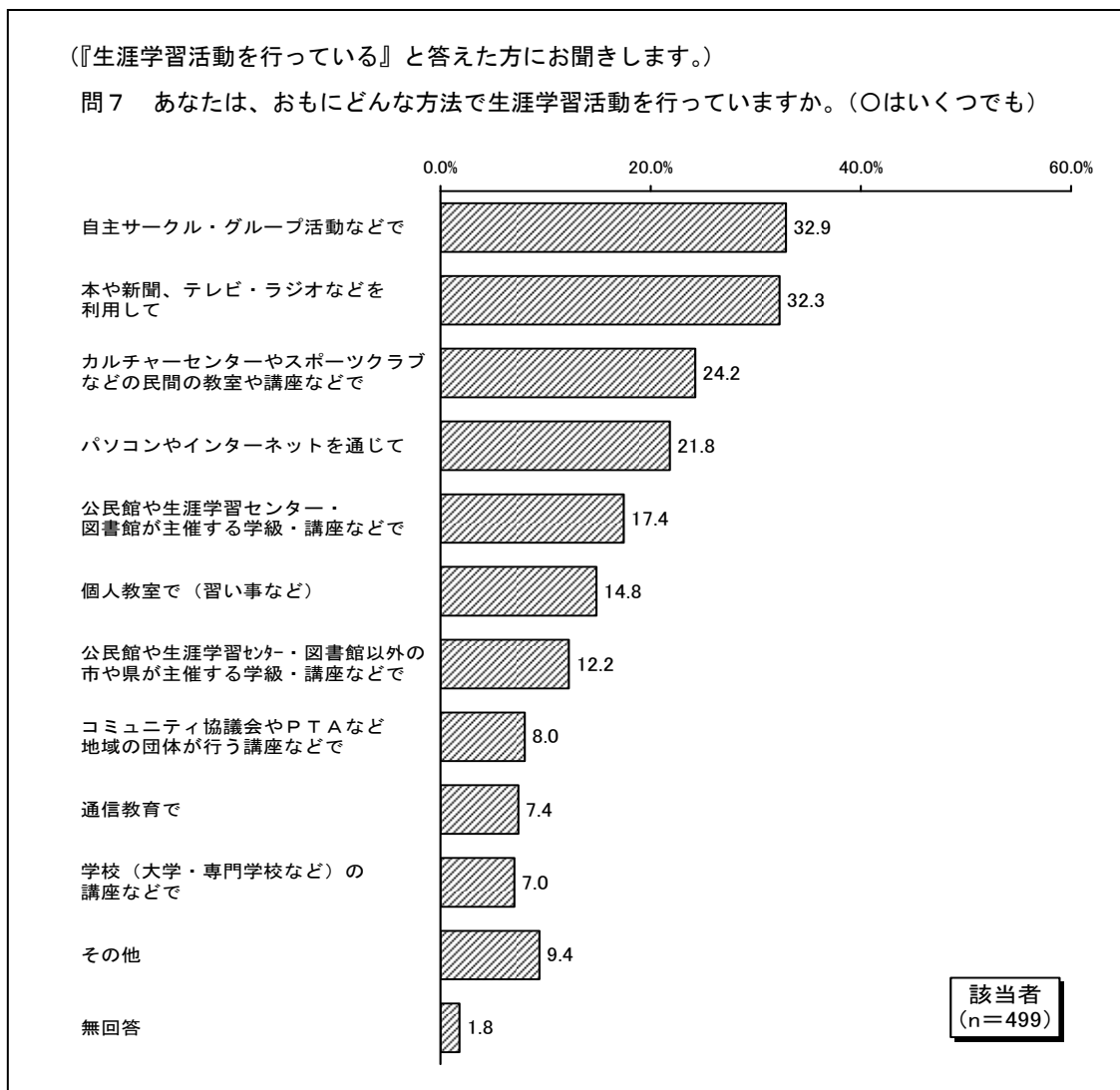
『生涯学習活動を行っている』と回答した人(499人)に、生涯学習活動を行う目的や動機について聞いた。

【全体結果の要約】

「体力づくりや健康管理のため」に行っている人が51.5%で最も多い。以下、「生きがいをもつため」(44.7%)、「趣味、芸能、芸術などを楽しんだり、技能を高めたりするため」(41.7%)と回答した人が4割台で続く。

一方で、「地域や社会の活動に役立てるため」(14.8%)、「地域との関わりが深められるため」(12.6%)、「資格をとるため」(11.0%)、「子育てや教育に関する知識を深めるため」(8.4%)といった目的や動機は少ない。

③ 生涯学習活動の方法



約3分の1はグループでの実施者である。

『生涯学習活動を行っている』と回答した人(499人)に、生涯学習活動の方法について聞いた。

【全体結果の要約】

「自主サークル・グループ活動などで」と回答した人が32.9%、「本や新聞、テレビ・ラジオなどを利用して」と回答した人が32.3%と約3人に1人いる。

以下、「カルチャーセンターやスポーツクラブなどの民間の教室や講座などで」(24.2%)、「パソコンやインターネットを通じて」(21.8%)が2割台で続く。

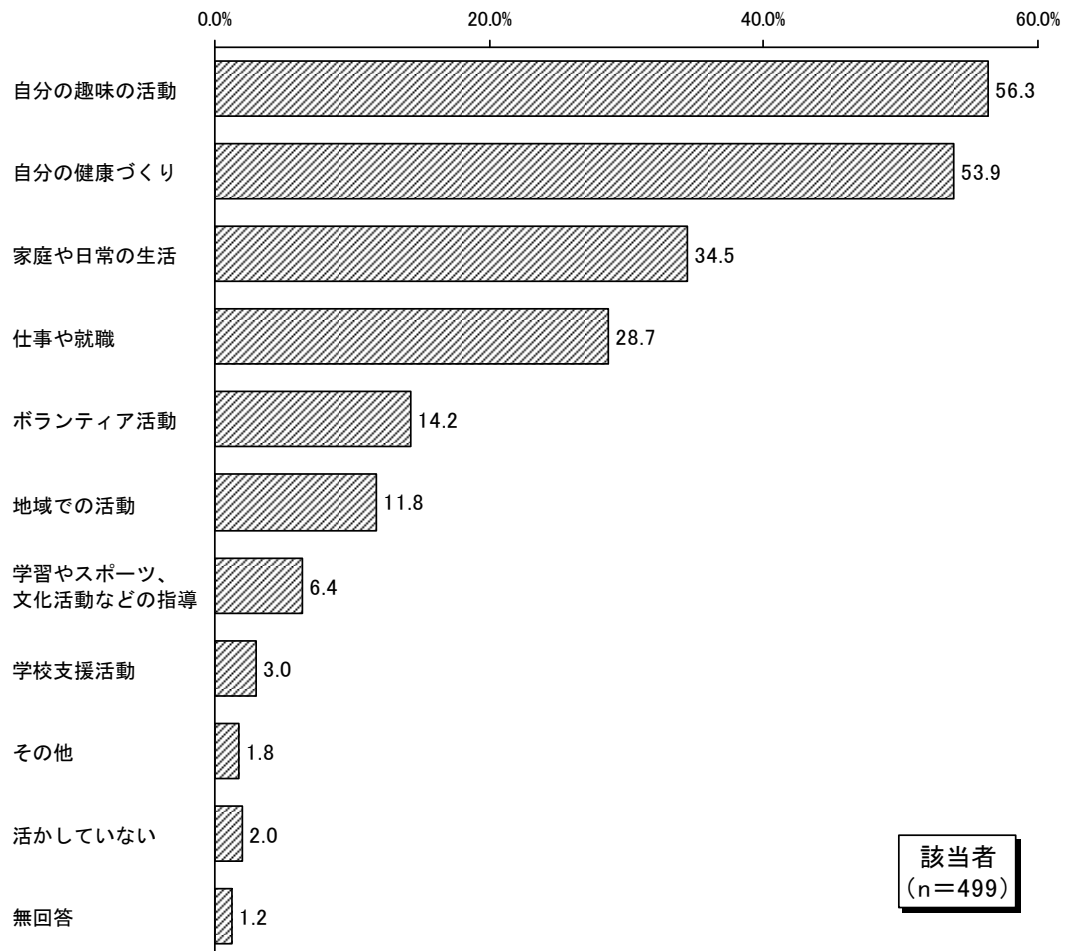
一方、「コミュニティ協議会やPTAなど地域の団体が行う講座などで」(8.0%)、「通信教育で」(7.4%)、「学校(大学・専門学校など)の講座などで」(7.0%)と回答した人は少ない。

④ 身につけた知識や技能の活用

(『生涯学習活動を行っている』と答えた方にお聞きします。)

問8 あなたは、生涯学習活動で身につけた知識や技能をどのように活かしていますか。

(〇はいくつでも)



約6割が「自分の趣味」に活かしている。

『生涯学習活動を行っている』と回答した人(499人)に、生涯学習活動で身につけた知識や技能の活用について聞いた。

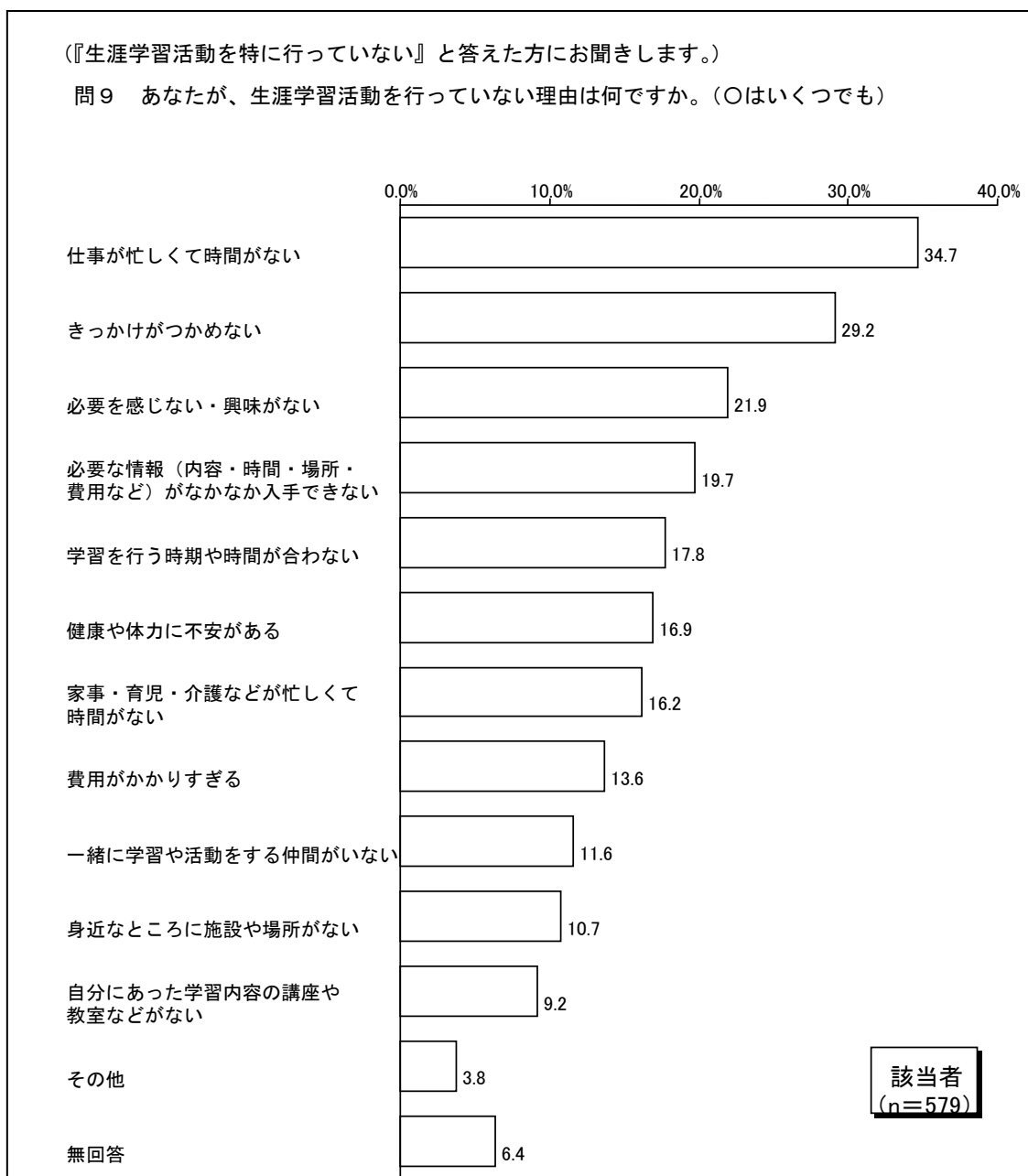
【全体結果の要約】

「自分の趣味の活動」に活かしている人が56.3%いる。「自分の健康づくり」(53.9%)に活かしている人も半数強。更に、「家庭や日常生活」(34.5%)、「仕事や就職」(28.7%)に活かしている人が3割前後いる。上記以外の活用先は1割台以下まで下がる。

⑤ 生涯学習活動を行っていない理由

(『生涯学習活動を特に行っていない』と答えた方にお聞きします。)

問9 あなたが、生涯学習活動を行っていない理由は何ですか。(〇はいくつでも)



—— 時間不足が最多理由であるが、きっかけ不足も一因となっている。 ——

『生涯学習活動を特に行っていない』と回答した人(579人)に、その理由について聞いた。

【全体結果の要約】

「仕事が忙しくて時間がない」が34.7%で最も多い。以下、回答率2割台で「きっかけがつかめない」(29.2%)、「必要を感じない・興味がない」(21.9%)といった理由が続く。

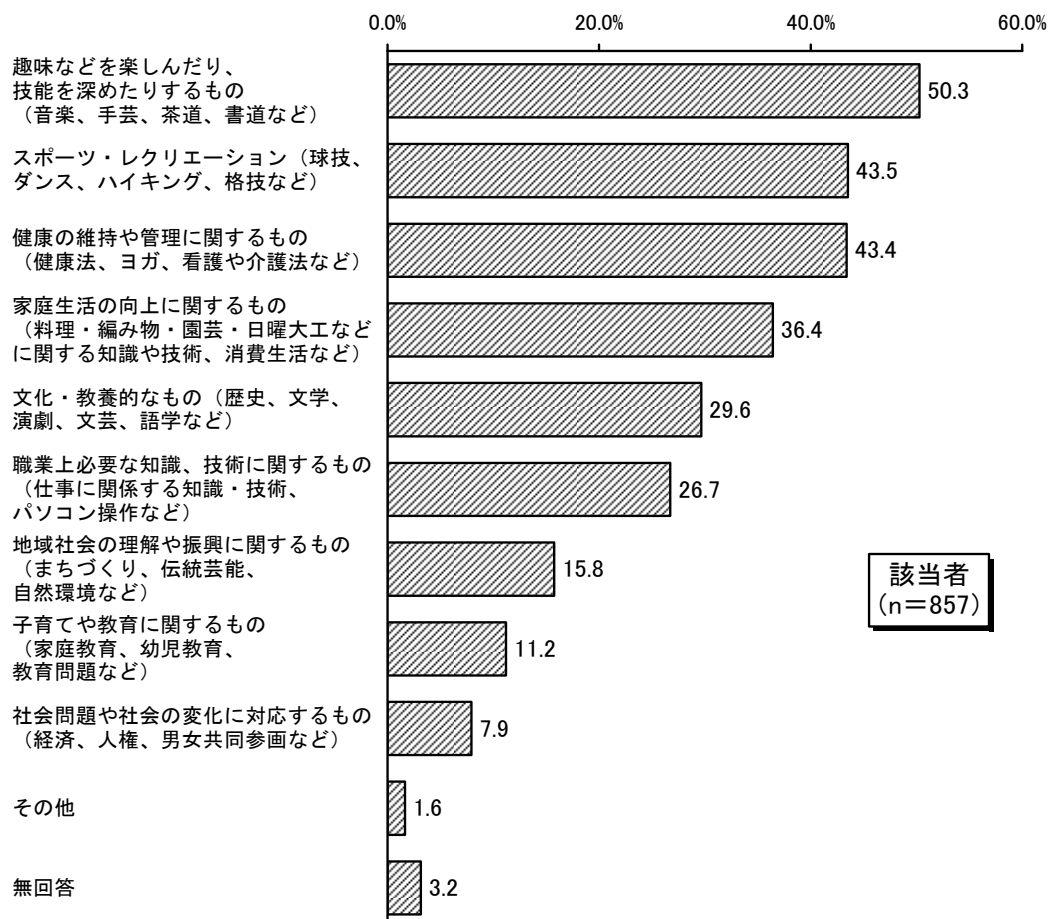
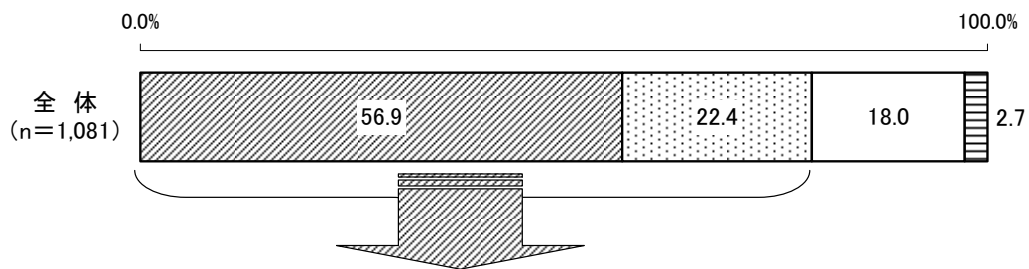
(2) 生涯学習活動に対する今後の意向

① 関心がある生涯学習活動

問10 あなたは、今後、生涯学習活動を行いたいと思いますか。(〇は1つだけ)

問11 あなたが、今後、生涯学習活動を行うとしたら、どのような内容に関心がありますか。(〇はいくつでも)

- | |
|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 行いたいと思う・今後も続けたい
<input type="checkbox"/> 気持ちはあるが、いろいろな事情でできないと思う
<input type="checkbox"/> 行いたいとは思わない
<input type="checkbox"/> 無回答 |
|--|



——「趣味などを楽しんだり、技能を深めたりするもの」への意向が強い。——

生涯学習活動に対する今後の意向と、関心がある学習内容について聞いた。

【全体結果の要約】

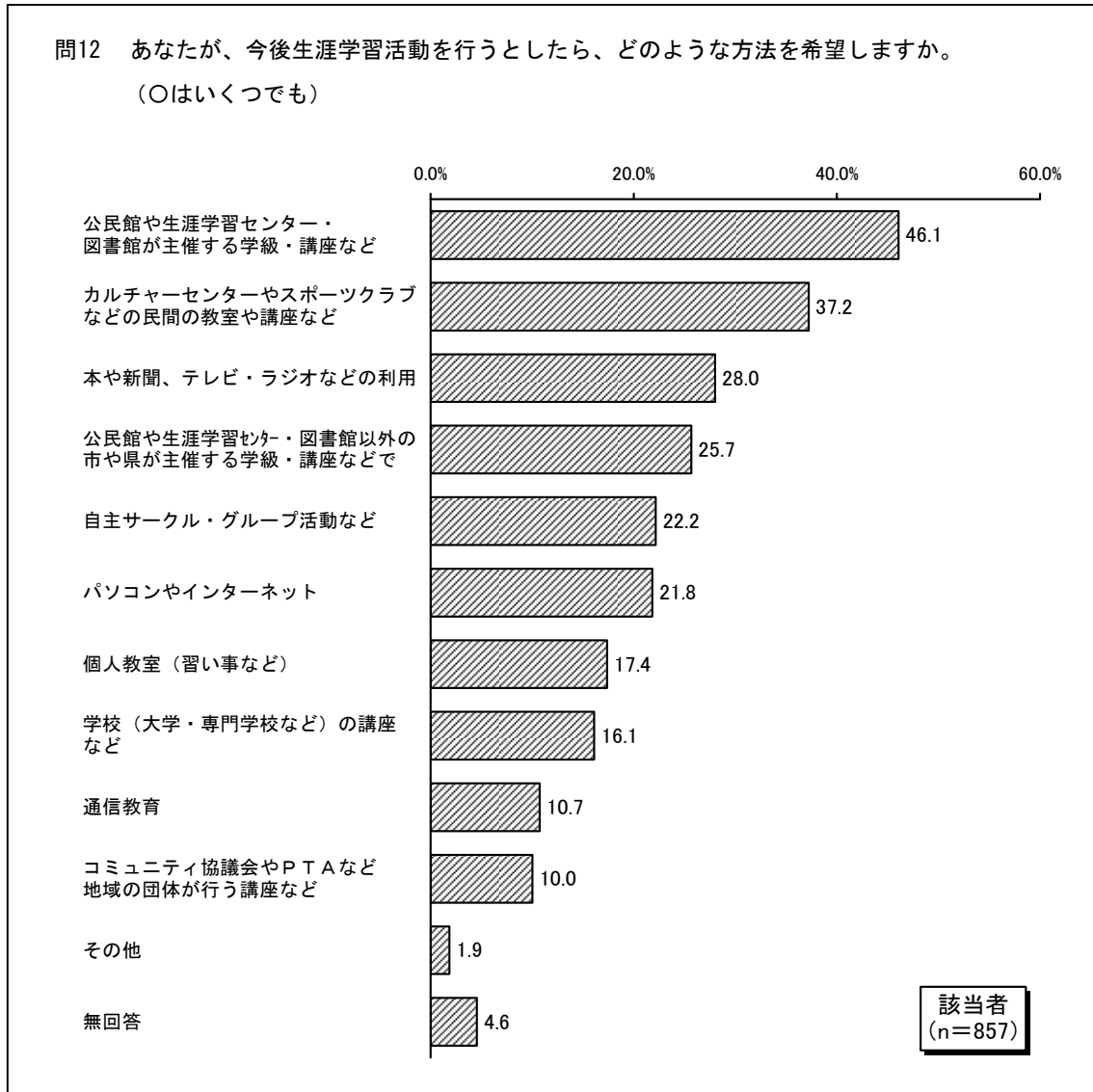
約 8 割の人が、今後生涯学習活動を「行いたいと思う・今後も続けたい」(56.9%)、「気持ちはあるが、いろいろな事情でできないと思う」(22.4%) と回答した。

これらの関心がある人の活動内容として最も多いのは、「趣味などを楽しんだり、技能を深めたりするもの（音楽、手芸、茶道、書道など）」(50.3%) で、「スポーツ・レクリエーション（球技、ダンス、ハイキング、格技など）」(43.5%)、「健康の維持や管理に関するもの（健康法、ヨガ、看護や介護法など）」(43.4%) が 4 割台でこれに次ぐ。

以下、関心がある人ベースの回答率 3 割前後で、「家庭生活の向上に関するもの（料理・編み物・園芸・日曜大工などに関する知識や技術、消費生活など）」(36.4%)、「文化・教養的なもの（歴史、文学、演劇、文芸、語学など）」(29.6%)、「職業上必要な知識、技術に関するもの（仕事に関係する知識・技術、パソコン操作など）」(26.7%) が続く。

一方で、「地域社会の理解や振興に関するもの（まちづくり、伝統芸能、自然環境など）」(15.8%)、「子育てや教育に関するもの（家庭教育、幼児教育、教育問題など）」(11.2%) は回答率 1 割台にとどまっている。更に、「社会問題や社会の変化に対応するもの（経済、人権、男女共同参画など）」(7.9%) は少なく、回答率は 1 割に満たない。

② 希望する活動方法



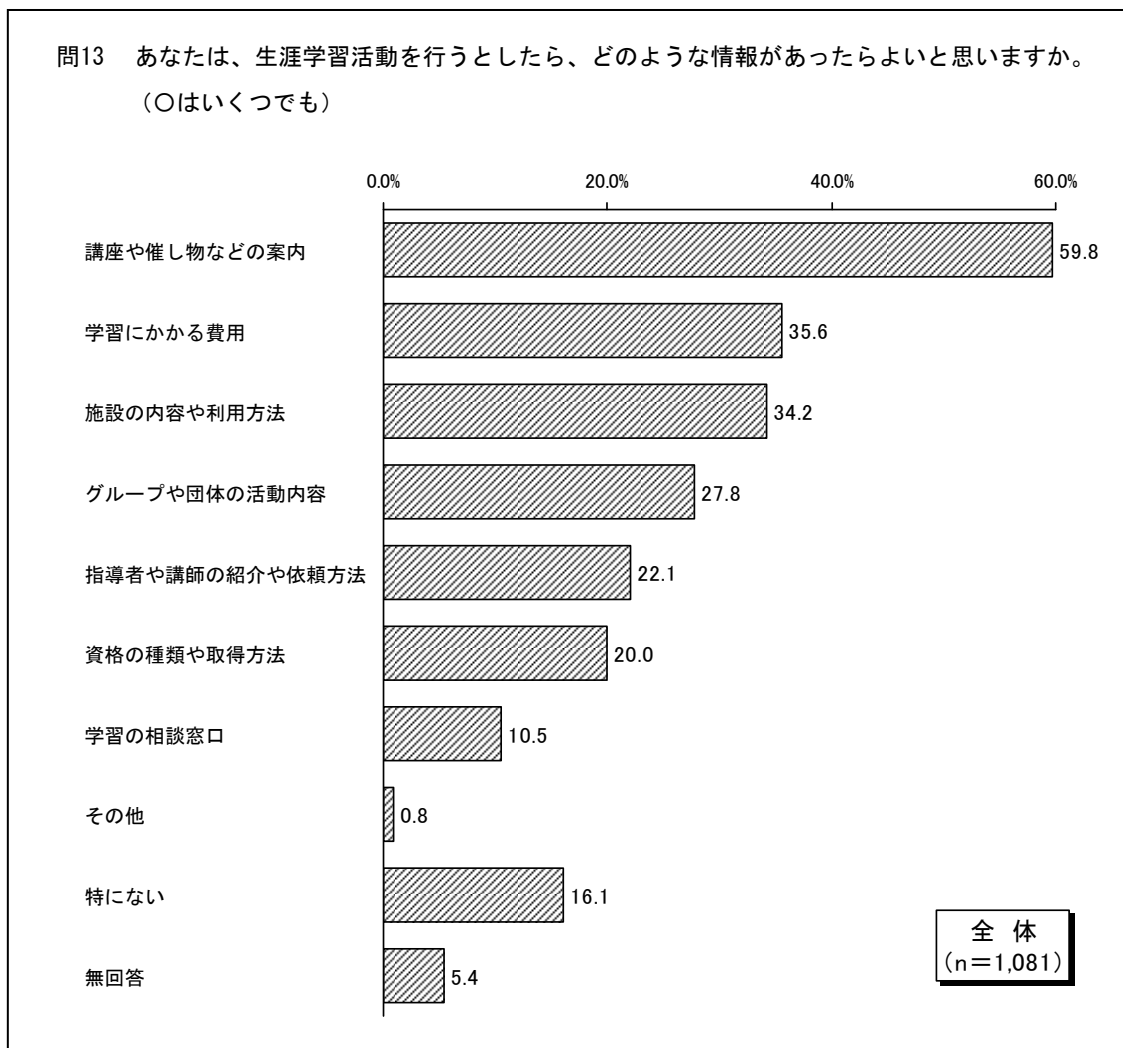
— 「公民館や生涯学習センター・図書館が主催する学級・講座など」が高い。 —

『行いたいと思う・今後も続けたい』、『気持ちはあるが、いろいろな事情でできないと思う』と回答した人（857人）に、希望する活動方法について聞いた。

【全体結果の要約】

半数弱が「公民館や生涯学習センター・図書館が主催する学級・講座など」（46.1%）の活動方法を望んでいる。「カルチャーセンターやスポーツクラブなどの民間の教室や講座など」（37.2%）を望む人も4割弱いる。

③ 入手したい情報



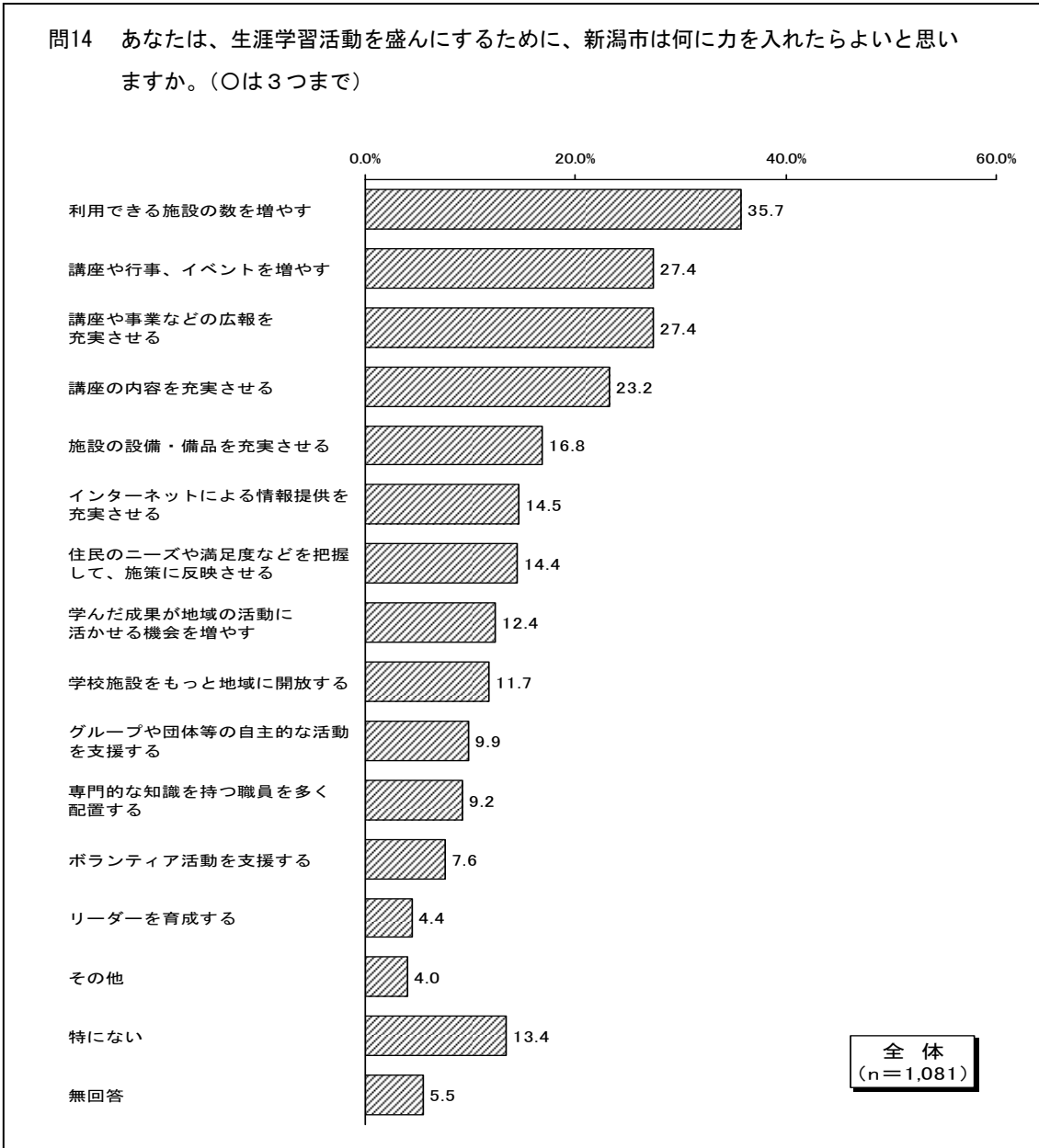
「講座や催し物などの案内」の必要性が高い。

生涯学習活動を行う上で、手に入れたい情報について聞いた。

【全体結果の要約】

約6割が「講座や催し物などの案内」(59.8%)の入手を望んでいる。以下、「学習にかかる費用」(35.6%)、「施設の内容や利用方法」(34.2%)が3割台で続く。

④ 施策への要望



「利用できる施設の数を増やす」との要望が最も多い。

生涯学習活動を盛んにするために、市が力を入れるべきことについて聞いた。

【全体結果の要約】

「利用できる施設の数を増やす」との回答が 35.7% で最も多い。これに「講座や行事、イベントを増やす」、「講座や事業などの広報を充実させる」（ともに 27.4%）、「講座の内容を充実させる」（23.2%）が 2 割台で続く。

一方で、「専門的な知識を持つ職員を多く配置する」（9.2%）、「ボランティア活動を支援する」（7.6%）、「リーダーを育成する」（4.4%）との声は 1 割に満たない。

【結果考察】

1 生涯学習活動への関わり

最初に生涯学習活動実施の有無及びその内容・方法、学習成果の活用について考察した。

【問4 あなたは、何らかの生涯学習活動を行っていますか。(○は1つ)】に対して、「生涯学習活動を行っている」との回答数は46.2%で過半数に届かない。平成23年度の新潟県の調査が37.5%であるから、新潟市は新潟県と比較すると市民の学習活動の参加率は高いといえる。しかし、平成20年度新潟市生涯学習市民意識調査(以下、「20年度調査」という。)と比較すると、20年度調査の「生涯学習を実施している」割合が55.4%であるのに対して、今年度調査は9.2ポイント低下している。また、平成24年度の全国調査において「この1年くらいの間に生涯学習をした人」(57.1%)と比較しても低くなっている。

地域別にこれを見ると、「生涯学習活動を行っている」との回答は、西区(53.8%)が一番高く、中央区(48.6%)、江南区(48.2%)と続く。北区(38.1%)、南区(40.0%)、秋葉区(41.1%)が低かった。西区と北区の差が15.7ポイントもついた。

また年代別にみると、「生涯学習活動を行っている」人は、60歳代が53.0%と最も高く、30歳代(39.7%)・40歳代(41.7%)は他の世代に比べて低かった。

【問5 あなたが行っている生涯学習活動は何ですか。(○はいくつでも)】を見ると、「スポーツ・レクリエーション」が42.3%、「趣味などを楽しんだり、技能を深めたりするもの」が38.5%と高く、次いで「職業上必要な知識、技術に関するもの」が高い。「地域社会の理解や振興に関するもの」及び「社会問題や社会の変化に対応するもの」などを学習すると回答した数はそれぞれ8.8%、5.6%と低くなっている。20年度調査も「スポーツ、レクリエーション、健康づくりに関すること」(46.7%)「芸術、工芸に関すること」(40.5%)の順で高く、「まちづくりに関すること」(4.5%)「人権擁護に関すること」(2.1%)が低いことから、本調査で得た回答は、20年度調査と比較しても傾向は変わらないといえる。

【問6 あなたが、生涯学習活動を行う目的や動機は何ですか。(○はいくつでも)】についての回答を見ると、「体力づくりや健康管理のため」(51.5%)、「生きがいをもつため」(44.7%)が高く、次いで「趣味、芸能、芸術などを楽しんだり、技能を高めたりするため」(41.7%)、「知識・教養を高めるため」(38.3%)と続く。これに対して「地域や社会の活動に役立てるため」(14.8%)、「地域との関わりが深められるため」(12.6%)との回答は低い。これを年代別にみると20・30歳代は「仕事や職業に役立てるため」(20歳代63.0%・30歳代55.0%)が高くなり、「体力づくりや健康管理のため」が50歳代(50.0%)、60歳代(66.4%)、70歳代(62.8%)と年代が上がるほど高くなる傾向がみられる(表-1参照)。

また地域別にみると、基本傾向には大きく差は見られないが、「地域との関わりが深められるため」「地域や社会の活動に役立てるため」とした回答は全体でそれぞれ12.6%・14.8%であるのに対して、江南区(20.0%・15.0%)や秋葉区(21.7%・19.6%)、南区(19.2%・19.2%)で高い。

(表-1) 問6 生涯学習活動を行う目的や動機(年代別)

	仕事や職業に役立てるため	資格をとるため	知識・教養を高めるため	体力づくりや健康管理のため	子育てや教育に関する知識を深めるため	日常生活に関する知識や技術を深めるため	趣味、芸術などを楽しんだり、技能を高めたりするため	生きがいをもつため	自由時間を有効に活かすため	他の人との親睦を深め友人を得るため	地域との関わりが深められるため	地域や社会の活動に役立てるため	その他	特に理由はない	無回答	
全体結果 (n=499)	31.3%	11.0%	38.3%	51.5%	8.4%	20.4%	41.7%	44.7%	31.5%	34.3%	12.6%	14.8%	2.4%	0.8%	1.0%	
年代別	20歳代 (n=46)	63.0%	30.4%	45.7%	21.7%	8.7%	19.6%	41.3%	37.0%	30.4%	21.7%	8.7%	13.0%	2.2%	2.2%	2.2%
	30歳代 (n=60)	55.0%	20.0%	46.7%	45.0%	23.3%	18.3%	46.7%	36.7%	21.7%	28.3%	8.3%	13.3%	3.3%	0.0%	1.7%
	40歳代 (n=70)	52.9%	17.1%	44.3%	41.4%	22.9%	15.7%	40.0%	31.4%	27.1%	30.0%	12.9%	18.6%	1.4%	1.4%	0.0%
	50歳代 (n=92)	37.0%	12.0%	38.0%	50.0%	2.2%	15.2%	42.4%	38.0%	28.3%	26.1%	5.4%	10.9%	2.2%	0.0%	1.1%
	60歳代 (n=131)	15.3%	3.8%	38.2%	66.4%	3.1%	29.8%	44.3%	55.7%	35.1%	36.6%	15.3%	16.8%	2.3%	0.8%	0.0%
	70歳代 (n=78)	3.8%	1.3%	26.9%	62.8%	2.6%	19.2%	32.1%	50.0%	39.7%	50.0%	20.5%	12.8%	1.3%	1.3%	2.6%
	80歳以上 (n=22)	0.0%	0.0%	22.7%	40.9%	0.0%	13.6%	50.0%	68.2%	36.4%	54.5%	18.2%	22.7%	9.1%	0.0%	0.0%

【問7 あなたは、おもにどんな方法で生涯学習活動を行っていますか。(〇はいくつでも)】の回答を見ると、「自主サークル・グループ活動などで」(32.9%)が最も高く、次いで「本や新聞、テレビ・ラジオなどを利用して」(32.3%)、「カルチャーセンターやスポーツクラブなどの民間の教室や講座などで」(24.2%)、「パソコンやインターネットを通じて」(21.8%)と続く。「コミュニティ協議会やPTAなど地域の団体が行う講座などで」(8.0%)、「通信教育で」(7.4%)、「学校の講座などで」(7.0%)が低い。平成20年度調査の結果を見ると、「本・雑誌・新聞」が56.2%と高く、次いで「仲間とやっているグループ・サークル・団体など」が33.1%となっている。今年度調査ではこれが逆転している点に注目できる。

またこの「生涯学習活動の方法」を年代別にみると、「公民館や生涯学習センター・図書館が主催する学級・講座などで」では20歳代が8.7%と最も低く、70歳代が26.9%と一番高い。「パソコンやインターネットを通じて」では、20歳代が50.0%で最も高く、70歳代が9.0%と逆転する。世代間により「学習の方法」が大きく変わってきていることが読み取れるといえる。全体を見ると、「新聞」などの紙媒体からインターネットに学習方法が移っているが、40歳代以降は社会教育施設を活用する傾向が強いため、その数値は減っていない(表-2参照)。

(表-2) 問7 生涯学習活動の方法(年代別)

	公民館や生涯学習センター・図書館が主催する学級・講座などで	左記以外の市や県が主催する学級・講座などで	学校(大学・専門学校など)の講座などで	コミュニティ協議会やPTAなど地域の団体が行う講座などで	カルチャーセンターやスポーツクラブなどの民間の教室や講座などで	自主サークル・グループ活動などで	通信教育で	本や新聞、テレビ・ラジオなどを利用して	パソコンやインターネットを通じて	個人教室で(習い事など)	その他	無回答	
全体結果 (n=499)	17.4%	12.2%	7.0%	8.0%	24.2%	32.9%	7.4%	32.3%	21.8%	14.8%	9.4%	1.8%	
年代別	20歳代 (n=46)	8.7%	8.7%	21.7%	0.0%	15.2%	21.7%	19.6%	50.0%	50.0%	6.5%	13.0%	2.2%
	30歳代 (n=60)	6.7%	13.3%	8.3%	8.3%	21.7%	38.3%	11.7%	41.7%	35.0%	20.0%	10.0%	1.7%
	40歳代 (n=70)	15.7%	12.9%	5.7%	11.4%	25.7%	32.9%	12.9%	34.3%	24.3%	10.0%	11.4%	0.0%
	50歳代 (n=92)	13.0%	12.0%	4.3%	1.1%	29.3%	34.8%	5.4%	29.3%	25.0%	13.0%	8.7%	1.1%
	60歳代 (n=131)	24.4%	19.1%	6.9%	9.2%	24.4%	31.3%	3.8%	31.3%	12.2%	21.4%	6.9%	0.0%
	70歳代 (n=78)	26.9%	2.6%	2.6%	14.1%	25.6%	32.1%	2.6%	16.7%	9.0%	14.1%	9.0%	7.7%
	80歳以上 (n=22)	13.6%	9.1%	4.5%	13.6%	18.2%	45.5%	0.0%	36.4%	9.1%	4.5%	13.6%	0.0%

【問8 あなたは、生涯学習活動で身につけた知識や技能をどのように活かしていますか。(〇はいくつでも)】について見ると、「自分の趣味の活動」(56.3%)、「自分の健康づくり」(53.9%)が高く、「ボランティア活動」(14.2%)、「地域での活動」(11.8%)、「学習やスポーツ、文化活動などの指導者」(6.4%)、「学校支援活動」(3.0%)と少なく、「活かしていない」との回答も2.0%であるが存在する。しかし、地域別にみると、秋葉区(21.7%)と南区(23.1%)が「地域での活動」に活用したいと回答している。中央区が9.1%と低いのに対してこの結果は注目できる。

次いで【問9 あなたが、生涯学習活動を行っていない理由は何ですか。(〇はいくつでも)】で「生涯学習を行っていない人」に対してその理由を尋ねた。それによると、「仕事が忙しくて時間がない」(34.7%)が最も高く、ついで「きっかけがつかめない」(29.2%)、「必要を感じない・興味がない」(21.9%)となっている。また「必要な情報がなかなか入手できない」(19.7%)、「学習を行う時期や時間が合わない」(17.8%)との回答もある。

特に、「仕事が忙しくて時間がない」と答えた人は、40歳代で50.0%と高い数字になっている。また、「家事・育児・介護などが忙しくて時間がない」と答えた人は、全体で16.2%なのに対し、30歳代で30.8%、40歳代で23.5%と、この世代の忙しさを表す結果となった。

2 生涯学習活動に対する今後の意向

【問 10 あなたは、今後、生涯学習活動を行いたいと思いますか。(○は1つ)】で、今後生涯学習を行いたいかどうかを尋ねたところ、「行いたいと思う・今後続けたい」との回答が 56.9%、「気持ちはあるが、いろいろな事情でできないと思う」との回答が 22.4%であった。活動を行いたいという気持ちのある人は合わせて 79.3%となり、20 年度調査の結果とほぼ同じといえる。

【問 11 あなたが、今後、生涯学習活動を行うとしたら、どのような内容に関心がありますか。(○はいくつでも)】で、具体的に今後希望する活動の内容をみると、「趣味を楽しんだり、技能を深めたりするもの」(50.3%)、「スポーツ・レクリエーション」(43.4%)、「健康の維持や管理に関するもの」(43.4%)、「家庭生活の向上に関するもの」(36.4%)が高く、「地域社会の理解や振興に関するもの」(15.8%)、「社会問題や社会の変化に対応するもの」(7.9%)が低くなっている。【問 12 あなたが、今後生涯学習活動を行うとしたら、どのような方法を希望しますか。(○はいくつでも)】において、希望する活動方法をみると「公民館や生涯学習センター・図書館が主催する学級・講座などで」(46.1%)、「カルチャーセンターやスポーツクラブなどの民間の教室や講座などで」(37.2%)、次いで「本や新聞、テレビ・ラジオなどの利用」(28.0%)が高く、「コミュニティ協議会やPTAなど地域団体が行う講座など」(10.0%)が低い。この傾向も 20 年度調査と同じである。

【問 13 あなたは、生涯学習活動を行うとしたら、どのような情報があったらよいと思いますか。(○はいくつでも)】で入手したい情報を見ると、「講座や催し物などの案内」が 59.8%と圧倒的に高く、次いで「学習にかかる費用」(35.6%)となっている。この「学習にかかる費用」と回答した人は、20 歳代 (51.6%)、30 歳代 (57.0%)、40 歳代 (50.6%) が他の世代に比べて高い結果となった。また、「問 9 生涯学習活動を行っていない理由」で 20・30 歳代が「必要な情報(内容・時間・場所・費用など)がなかなか入手できない」「費用がかかりすぎる」と回答した値が高いことを加味すると生涯学習と経費の問題は 20・30 歳代にとっての問題でもあるとも読める(表-3 参照)。

(表-3) 問9 生涯学習活動を行っていない理由(年代別)

	健康や体力に不安がある	費用がかかりすぎる	必要な情報(内容・時間・場所・費用など)がなかなか入手できない	一緒に学習や活動をすすめる仲間がない	身近なところ施設や場所がない	自分にあった学習内容の講座や教室などが無い	学習を行う時期や時間が合わない	仕事や忙しくて時間が無い	家事・育児・介護などが忙しくて時間が無い	きっかけがつかめない	必要を感じない・興味が無い	その他	無回答	
全体結果 (n=579)	16.9%	13.6%	19.7%	11.6%	10.7%	9.2%	17.8%	34.7%	16.2%	29.2%	21.9%	3.8%	6.4%	
年代別	20歳代 (n=47)	4.3%	17.0%	34.0%	14.9%	12.8%	12.8%	10.6%	34.0%	6.4%	38.3%	19.1%	12.8%	8.5%
	30歳代 (n=91)	3.3%	19.8%	23.1%	5.5%	9.9%	9.9%	22.0%	44.0%	30.8%	28.6%	20.9%	3.3%	5.5%
	40歳代 (n=98)	10.2%	14.3%	18.4%	5.1%	8.2%	7.1%	22.4%	50.0%	23.5%	33.7%	19.4%	3.1%	4.1%
	50歳代 (n=99)	12.1%	15.2%	31.3%	13.1%	14.1%	11.1%	32.3%	45.5%	15.2%	31.3%	19.2%	1.0%	6.1%
	60歳代 (n=116)	16.4%	16.4%	17.2%	15.5%	13.8%	8.6%	15.5%	31.9%	9.5%	36.2%	22.4%	1.7%	4.3%
	70歳代 (n=81)	33.3%	3.7%	4.9%	12.3%	7.4%	8.6%	7.4%	14.8%	13.6%	12.3%	28.4%	6.2%	8.6%
	80歳以上 (n=45)	55.6%	4.4%	8.9%	20.0%	6.7%	4.4%	0.0%	2.2%	4.4%	17.8%	26.7%	4.4%	13.3%

【問 14 あなたは、生涯学習活動を盛んにするために、新潟市は何に力を入れたらよいと思いますか。(〇は3つまで)】については、「利用できる施設の数を増やす」(35.7%)が一番高く、次いで「講座や行事、イベントを増やす」(27.4%)、「講座や事業などの広報を充実させる」(27.4%)、「講座の内容を充実させる」(23.2%)と続き、「ボランティア活動を支援する」(7.6%)、「リーダーを育成する」(4.4%)が低い結果となっている。この傾向を【問 4 あなたは、何らかの生涯学習活動を行っていますか】との関係からみると、「生涯学習を行っていない」と回答した人は、「学校施設をもっと地域に開放する」以外の全てで全体結果より低くなっている。

以上のような結果から、市民は市行政に対し、学習施設や講座の情報のより効率的な提供を期待しているが、その学習成果を地域に還元していくということへの関心度は薄いことがわかる。それを反映してか、個々人の趣味や健康、技術の学習には関心はあるが、社会問題や地域伝統、地域社会との関係については、学習要求が低い。社会教育は本来民主的で豊かな社会を形成する市民を育成することを基礎に展開される。この調査結果を概観すると、学習を継続し、様々な能力を培っている市民をいかにむすびつけるかが、言い換えると市民ネットワークを作りだせるかが今後の課題となるであろうことが推察できる。

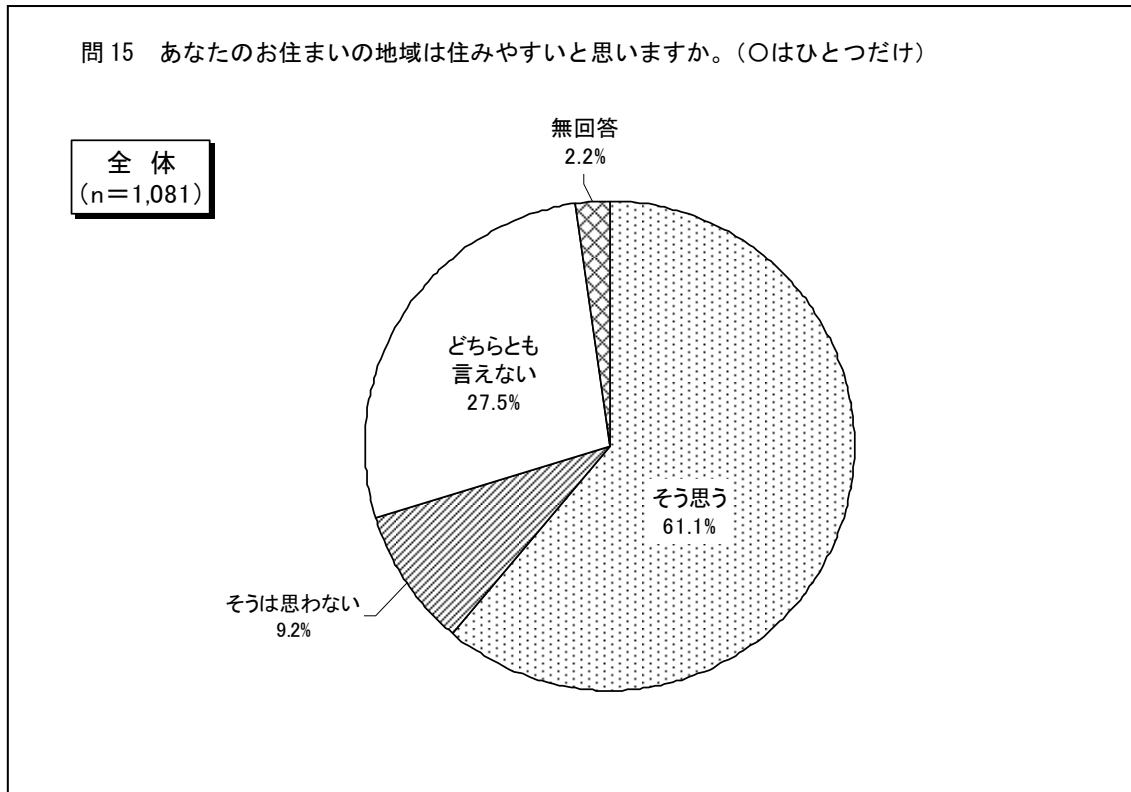
また、「学習活動を行っていない」と回答している市民も、その理由については「情報が入手できない」ということが多く、学習情報の発信のあり方が問われている。

学習の形態については、グループ活動を主体とする学習ではなく、個人的に学習活動を展開するというスタイルが20・30歳代で高い。これはインターネットの活用など学習手法が多様化して、学習活動の中心の場が公民館などから個々人の生活の場へと活動の場が変化していることを意味している。また学習内容も20・30歳代は、職場関係の学習内容を希望しており、この点は50歳代以降の傾向と異なる。このことは公民館などの社会教育施設が事業を展開する場合、注意しておかなければならない点であろう。

2 社会活動への関わり

(1) 地域をめぐる状況

① 住みやすさ



6割強が、住みやすいと回答。

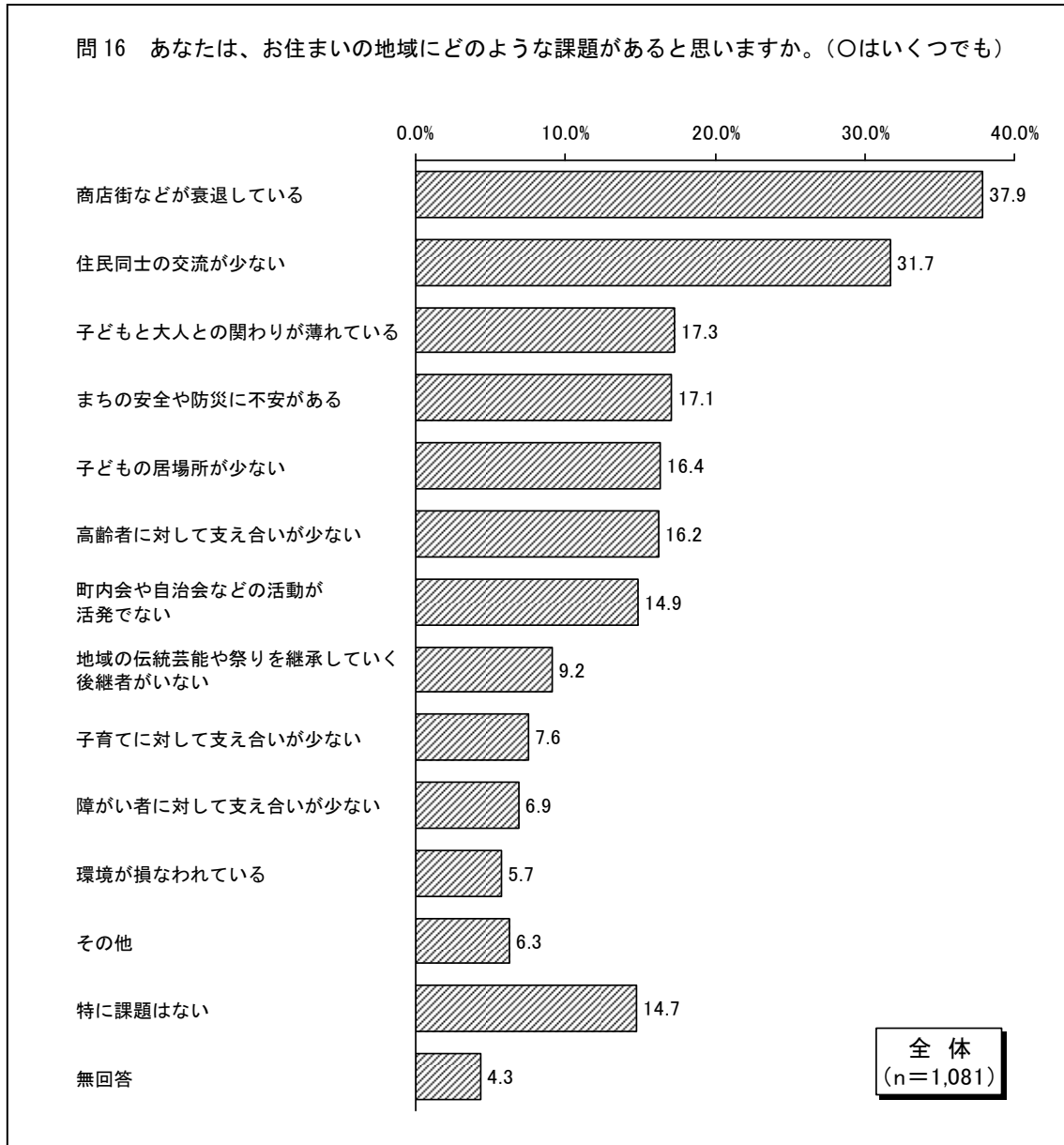
お住まいの地域の住みやすさについて聞いた。

【全体結果の要約】

6割強は「そう思う」(61.1%)と回答した。

「そうは思わない」(9.2%)は1割に満たず、「どちらとも言えない」(27.5%)は3割弱にとどまる。

②地域の課題



4 割弱が「商店街の衰退」を課題にあげている。

お住まいの地域の課題について聞いた。

【全体結果の要約】

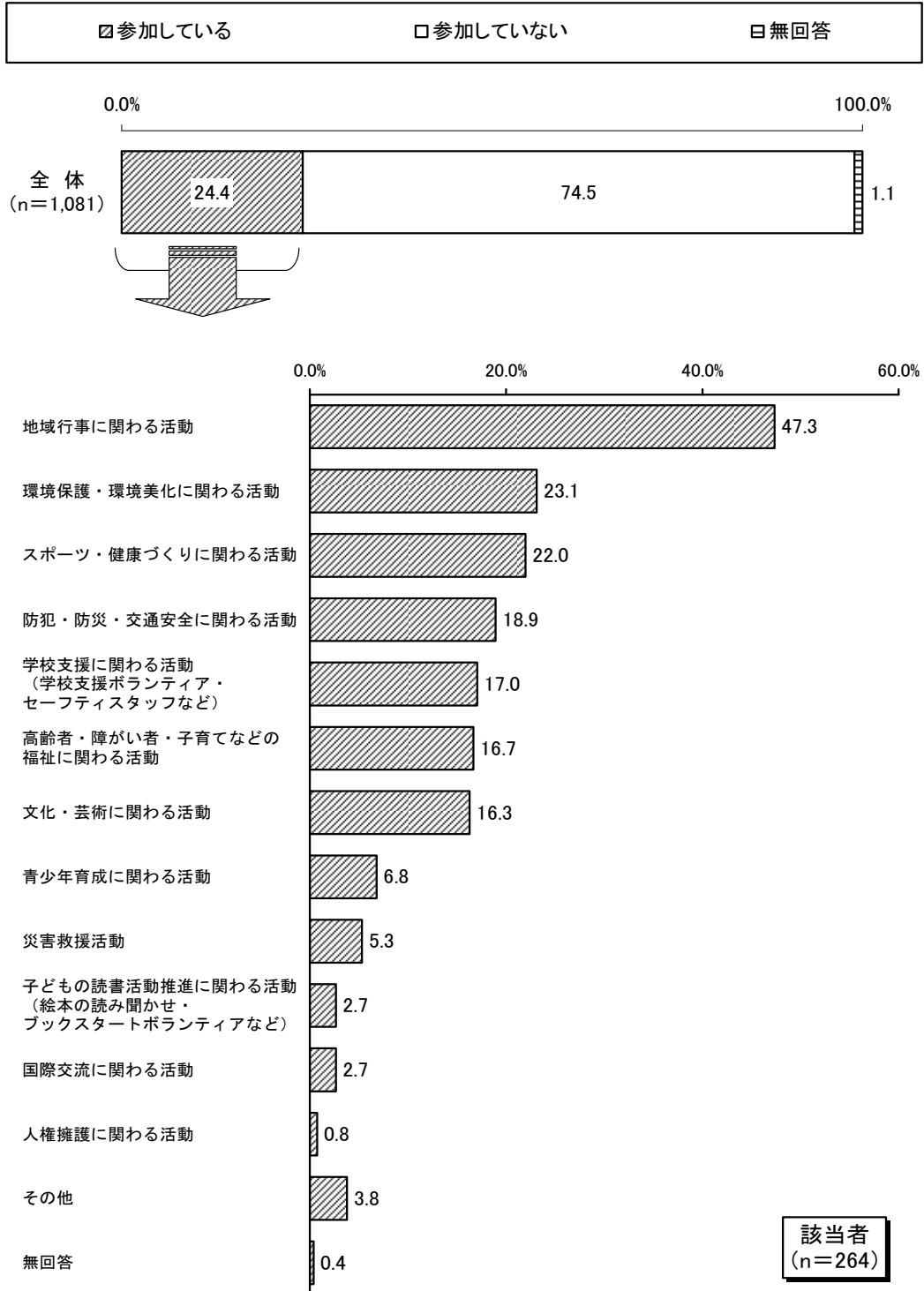
「商店街などが衰退している」との回答が 37.9%で最も多い。「住民同士の交流が少ない」(31.7%) が 3 割台で続く。

(2) 社会活動の現状

① 社会活動の参加状況

問17 あなたは、社会活動に参加していますか。
 (どちらかに○。具体例は問18の活動内容を参考にしてください。)

問18 あなたが参加している社会活動は何ですか。



約4分の3は『社会活動』に参加しておらず、参加している人の活動内容としては「地域行事」への参加が最も多い。

社会活動の参加状況と、参加している活動内容について聞いた。

【全体結果の要約】

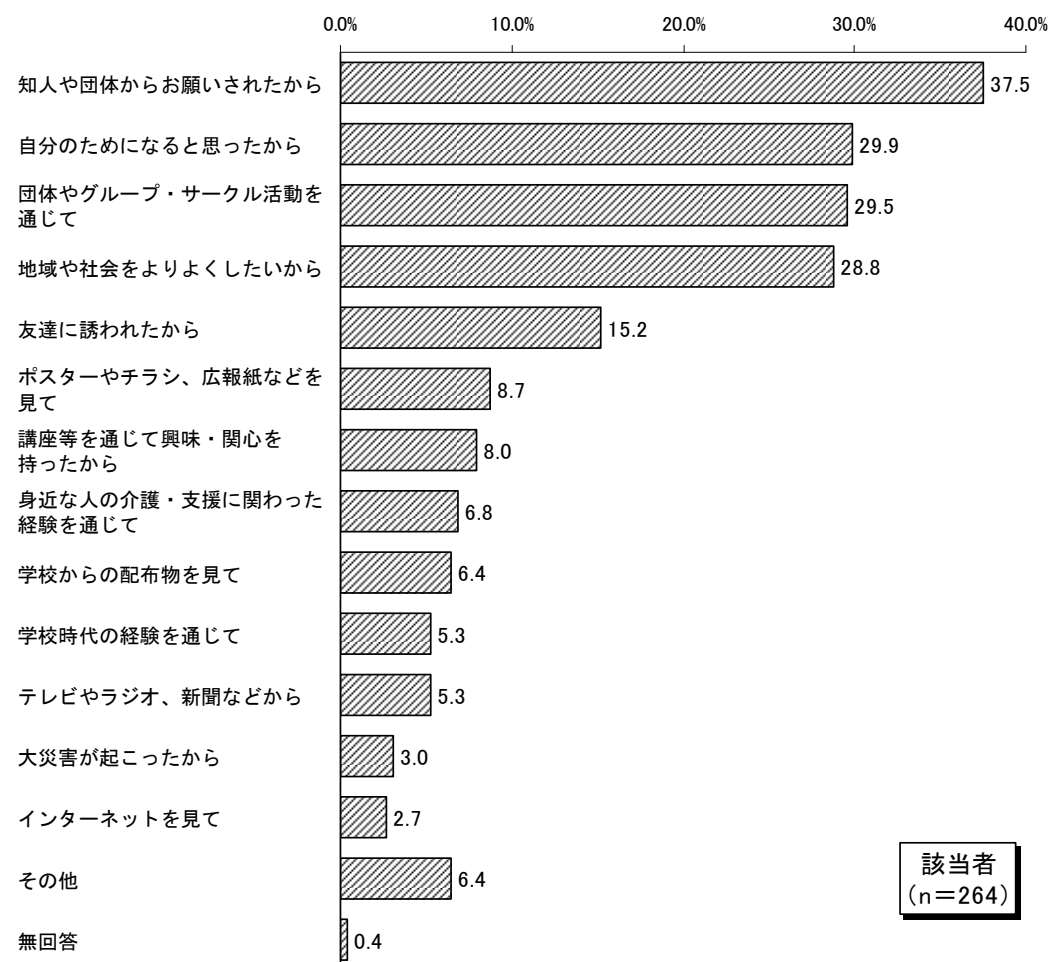
社会活動への参加状況とその活動内容とともに問うたところ、参加していない人が約4分の3であった。

参加している活動で最も多かったのは「地域行事に関わる活動」(47.3%)で、約5割が回答した。これに「環境保護・環境美化に関わる活動」(23.1%)、「スポーツ・健康づくりに関わる活動」(22.0%)が2割台で続く。

②活動に参加したきっかけ

(『社会活動に参加している』と答えた方にお聞きします。)

問 19 あなたが、社会活動に参加したきっかけは何ですか。(〇はいくつでも)



参加者の4割弱は他者からの依頼による。

『社会活動に参加している』と回答した人(264人)に、参加したきっかけについて聞いた。

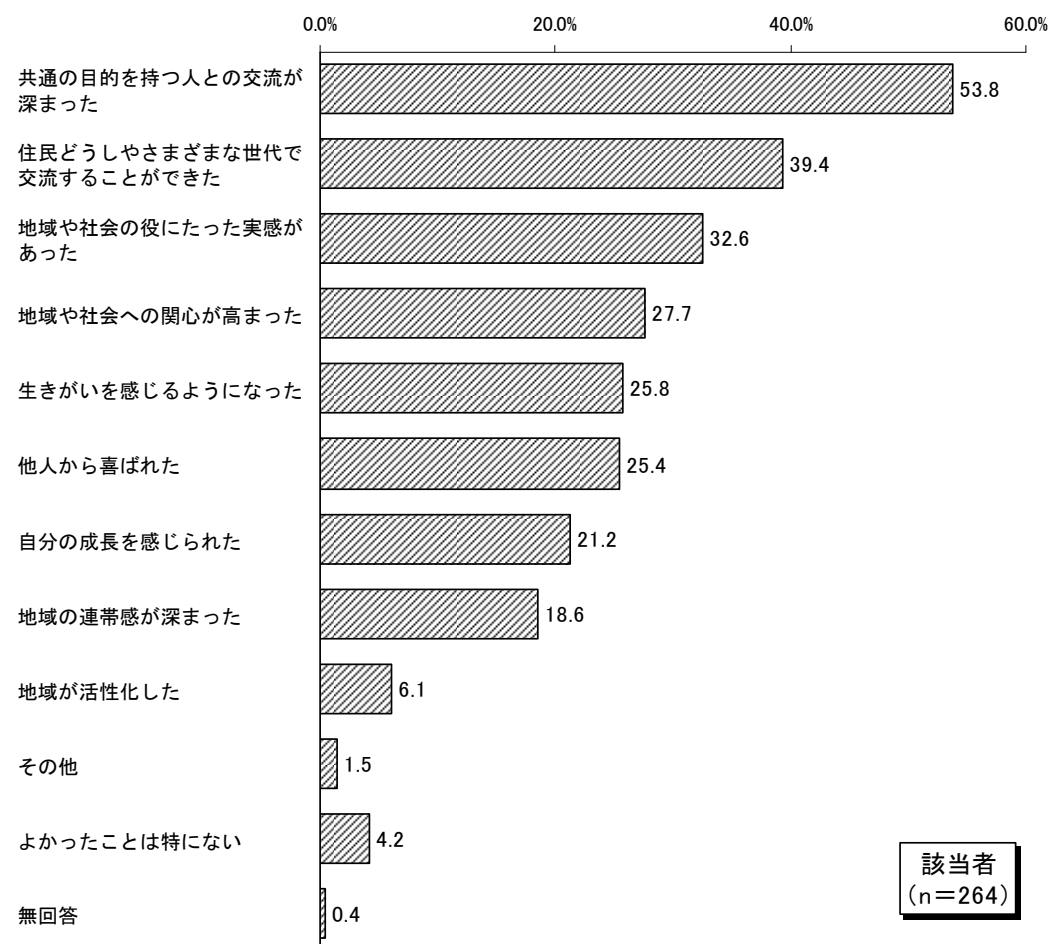
【全体結果の要約】

4割弱は「知人や団体からお願いされたから」(37.5%)が社会活動参加のきっかけである。「自分のためになると思ったから」(29.9%)「団体やグループ・サークル活動を通じて」(29.5%)、「地域や社会をよりよくしたいから」(28.8%)がこれに続く。

③活動してよかったと思うこと

(『社会活動に参加している』と答えた方にお聞きします。)

問 20 あなたが、社会活動に参加してよかったと思うことは何ですか。(〇はいくつでも)



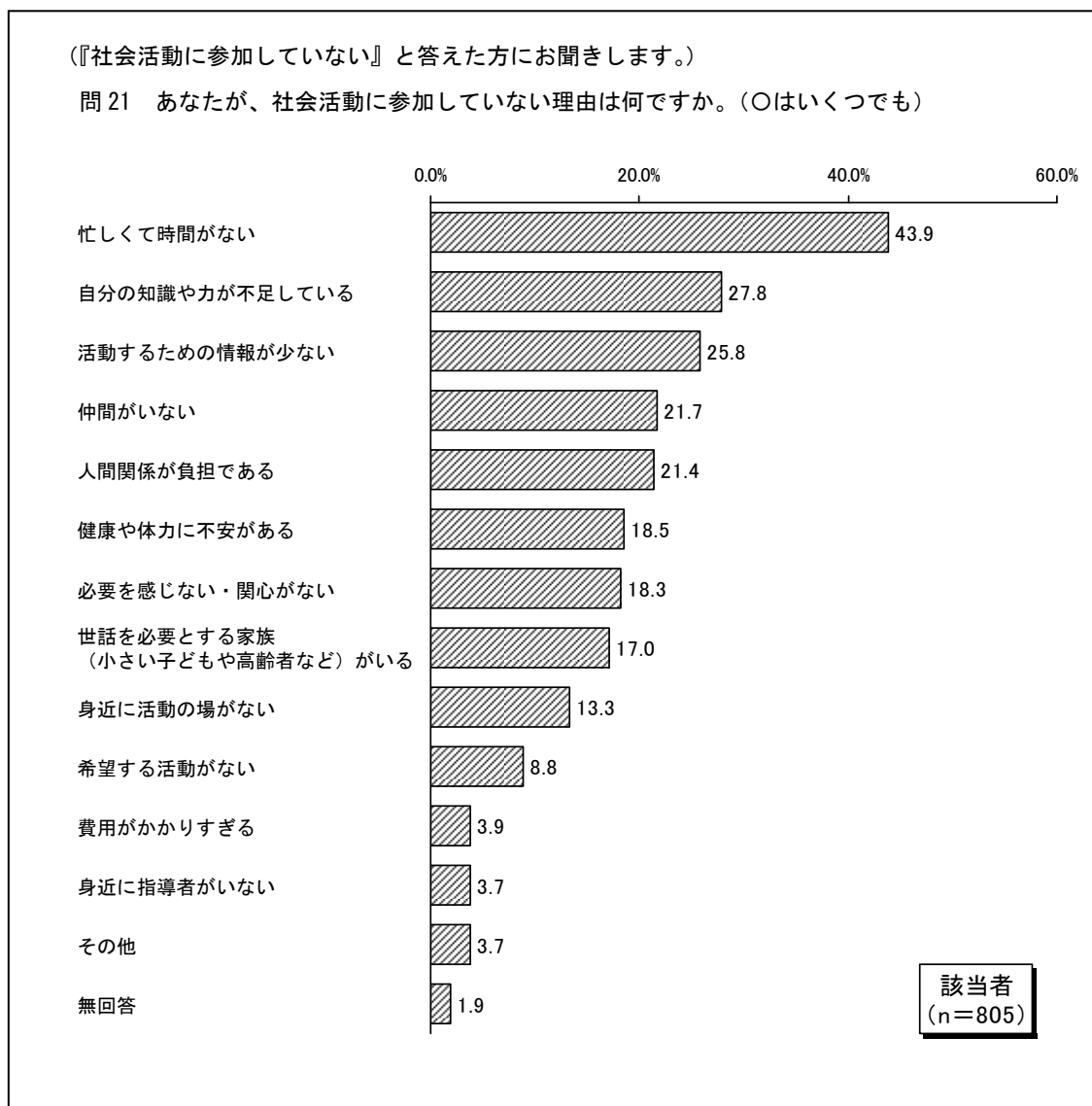
——— 半数強は「共通の目的を持つ人との交流が深まった」を回答。 ———

『社会活動に参加している』と回答した人 (264 人) に、参加してよかったと思うことについて聞いた。

【全体結果の要約】

「共通の目的を持つ人との交流が深まった」(53.8%) と回答した人が半数強で最も多い。「住民どうしやさまざまな世代で交流することができた」(39.4%)、「地域や社会の役にたった実感があった」(32.6%) が 3 割台でこれに続く。

④活動に参加していない理由



— 時間不足が最多理由であるが、知識、力、情報不足も一因となっている。 —

『社会活動に参加していない』と回答した人 (805 人) に、その理由について聞いた。

【全体結果の要約】

「忙しくて時間がない」(43.9%) が 4 割強で最も多い。以下、回答率 2 割台で「自分の知識や力が不足している」(27.8%)、「活動するための情報が少ない」(25.8%)、「仲間がいない」(21.7%)、「人間関係が負担である」(21.4%) といった理由が続く。

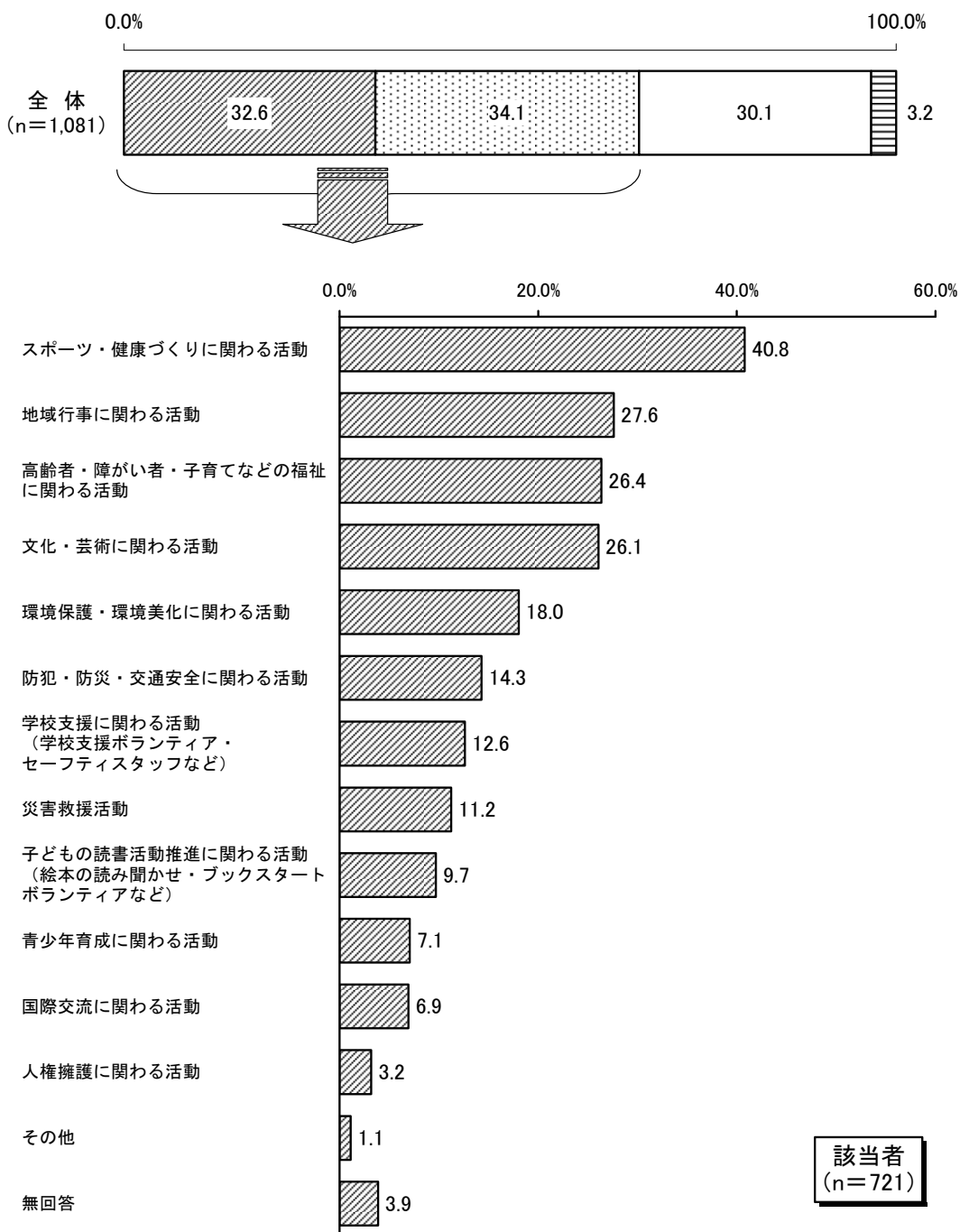
(3) 社会活動に対する今後の意向

① 関心がある社会活動

問 22 あなたは、今後、社会活動に参加したいと思いますか。(○は1つだけ)

問 23 あなたが、今後、参加するとしたら、どのような活動に関心がありますか。
(○はいくつでも)

参加したいと思う・今後も続けたい 参加したいが、いろいろな事情でできないと思う
 参加したいと思わない 無回答



「スポーツ・健康づくりに関わる活動」への意向が強い。

社会活動に対する今後の意向と、関心がある活動内容について聞いた。

【全体結果の要約】

約7割の人が、今後社会活動を「行いたいと思う・今後も続けたい」(32.6%)、「参加したいが、いろいろな事情でできないと思う」(34.1%)と回答した。

これらの関心がある人の活動内容として最も多いのは、「スポーツ・健康づくりに関わる活動」(40.8%)。

以下、関心がある人ベースの回答率2割台で、「地域行事に関わる活動」(27.6%)、「高齢者・障がい者・子育てなどの福祉に関わる活動」(26.4%)「文化・芸術に関わる活動」(26.1%)に関心のある人が続く。

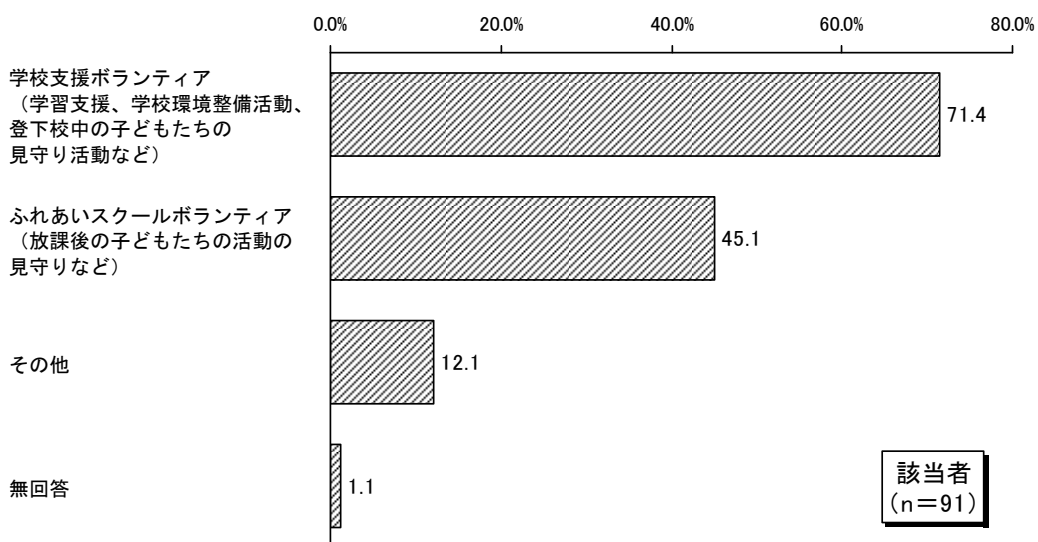
一方で、「子どもの読書活動推進に関わる活動（絵本の読み聞かせ・ブックスタートボランティアなど）」(9.7%)、「青少年育成に関わる活動」(7.1%)、「国際交流に関わる活動」(6.9%)、「人権擁護に関わる活動」(3.2%)は少なく、回答率は1割に満たない。

ア 学校支援に関わる活動

(『学校支援に関わる活動』と答えた方にお聞きします。)

問 23- (付問) 「6 学校支援に関わる活動」と答えた方にお聞きします。

それはどのような活動ですか。(〇はいくつでも)



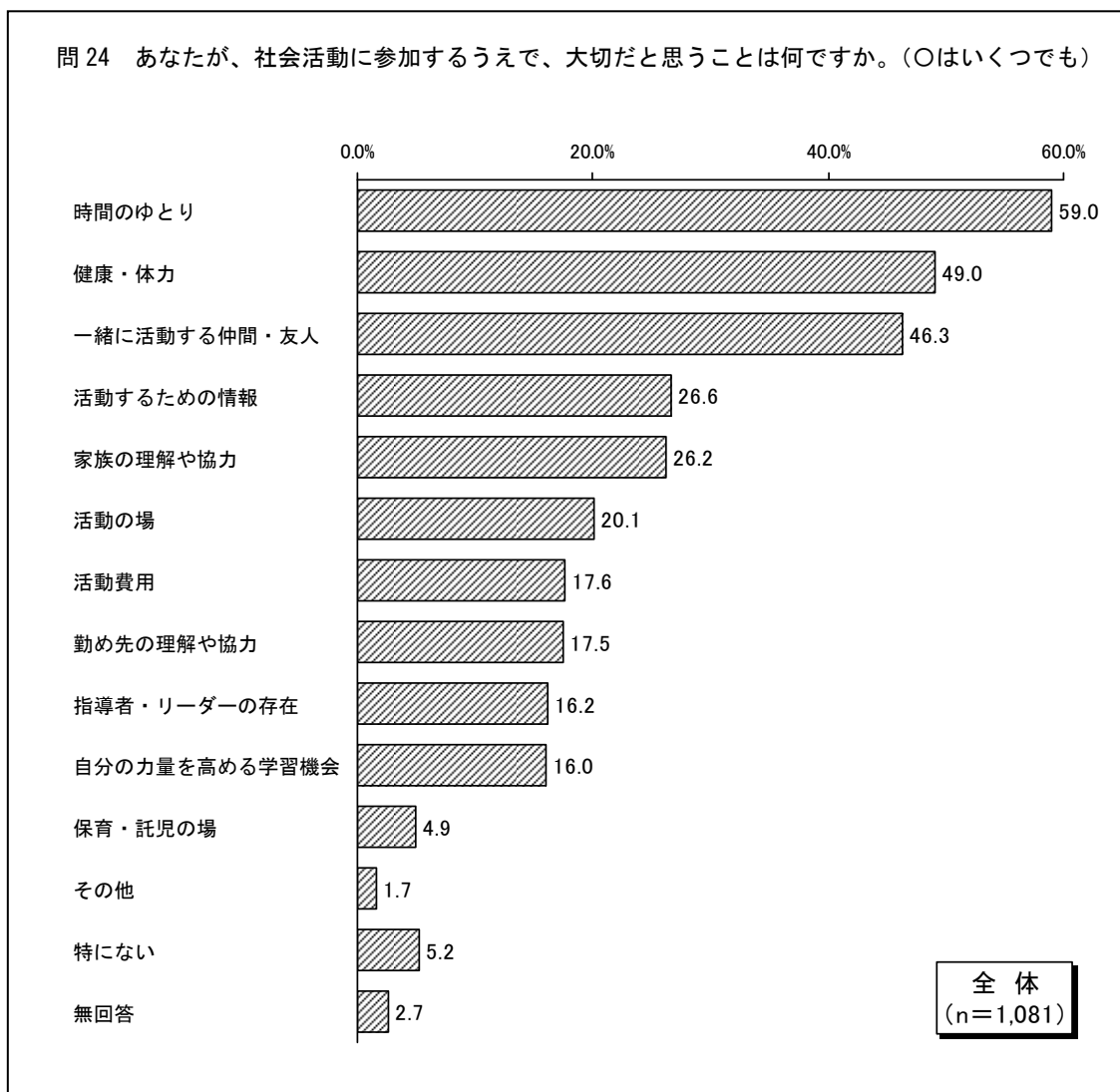
約7割が「学校支援ボランティア」と回答。

『学校支援に関わる活動』と回答した人(91人)に、活動の内容について聞いた。

【全体結果の要約】

7割強が「学校支援ボランティア(学習支援、学校環境整備活動、登下校中の子どもたちの見守り活動など)」(71.4%)の活動に関心をもっている。「ふれあいスクールボランティア(放課後の子どもたちの活動の見守りなど)」に関心のある人も45.1%いる。

②活動参加の条件



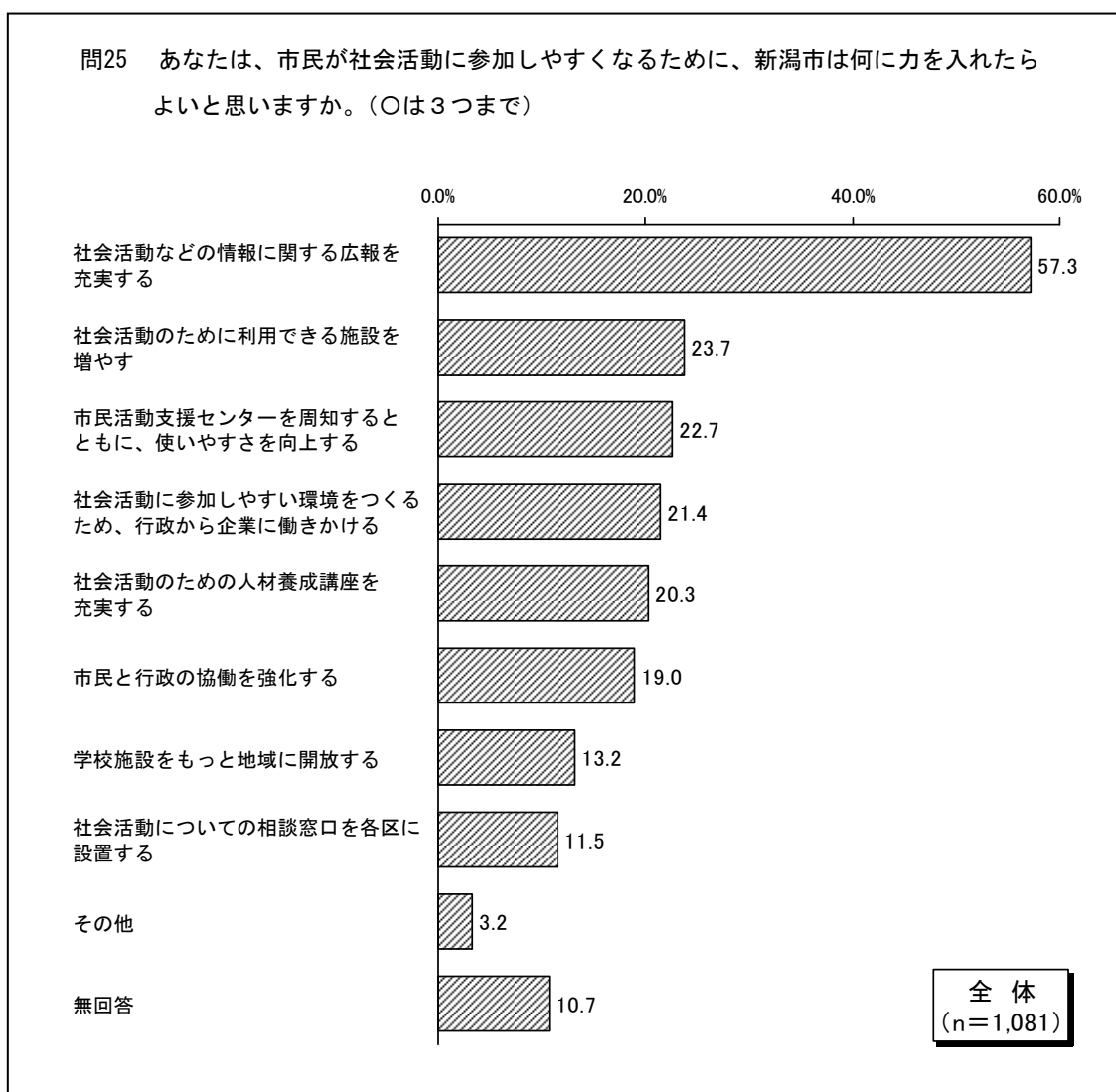
重要な参加条件は、「時間」、「健康」、「仲間」を確保すること。

社会活動に参加するうえで、大切だと思うことについて聞いた。

【全体結果の要約】

「時間のゆとり」(59.0%)が6割弱で最も多く、「健康・体力」(49.0%)、「一緒に活動する仲間・友人」(46.3%)を考慮条件とする人が4割台でこれに続く。

③施策への要望



— 「社会活動などの情報に関する広報を充実する」との要望が最も多い。 —

社会活動を盛んにするために、市が力を入れるべきことについて聞いた。

【全体結果の要約】

「社会活動などの情報に関する広報を充実する」(57.3%) との回答が 6 割弱で最も多い。以下、「社会活動のために利用できる施設を増やす」(23.7%)、「市民活動支援センターを周知するとともに、使いやすさを向上する」(22.7%)、「社会活動に参加しやすい環境をつくるため、行政から企業に働きかける」(21.4%)、「社会活動のための人材養成講座を充実する」(20.3%) が 2 割台で続く。

【結果考察】

1 地域の認識

社会活動に関する諸質問への回答では、性別や居住地別などに基づいて分析してみても、特記事項のある結果とはならなかった。傾向性のある部分は、世代別の観点であった。

たとえば、【問 15 あなたの住まいの地域は住みやすいと思いますか。(○は1つ)】である。30歳代が最も否定的であるのに、40歳代では最も肯定的となる(「そうは思わない」が平均以上であるが)。60歳を過ぎると、否定的要素は激減する。後述する問 16・21も考え合わせると、30歳代が一番暮らしにくい。子育てで大変であることが起因していることが推測される(表-4参照)。

(表-4) 問15 地域の住みやすさ(年代別)

		そう思う	そうは思わない	どちらとも言えない	無回答
全体結果(n=1,081)		61.1%	9.2%	27.5%	2.2%
年 代 別	20歳代(n=93)	58.1%	12.9%	29.0%	0.0%
	30歳代(n=151)	51.0%	15.9%	33.1%	0.0%
	40歳代(n=168)	69.6%	10.1%	20.2%	0.0%
	50歳代(n=191)	59.2%	10.5%	28.8%	1.6%
	60歳代(n=247)	59.1%	4.0%	34.0%	2.8%
	70歳代(n=160)	67.5%	6.9%	20.6%	5.0%
	80歳以上(n=68)	64.7%	5.9%	20.6%	8.8%

その【問 16 あなたは、住まいの地域にどのような課題があると思いますか。(○はいくつでも)】では、全体結果では回答率の高い選択肢順に、「商店街などが衰退している」(37.9%)、「住民同士の交流が少ない」(31.7%)、「子どもと大人との関わりが薄れている」(17.3%)、「まちの防災や安全に不安がある」(17.1%)となっている。

「住民同士の交流が少ない」という点は、年代が上がると高い(60歳代 38.9%、70歳代 36.3%、80歳以上 38.6%)。この傾向は、「高齢者に対して支え合いが少ない」という選択肢でもっと顕著である(全体 16.2%、20歳代 4.3%、30歳代 9.3%、60歳代 17.8%、70歳代 21.3%、80歳以上 36.8%)。一方、若い世代では子育てに関連した項目が課題視されている。「子育てに関して支え合いが少ない」(全体 7.6%、30歳代 17.2%)、「子どもの居場所が少ない」(全体 16.4%、20歳代 23.7%、30歳代 21.9%、40歳代 19.6%)といった項目である(表-5参照)。

(表-5) 問16 地域の課題(年代別)

	住民同士の交流が少ない	町内会や自治会などの活動が活発でない	商店街などが衰退している	地域の伝統芸能や祭りを継承していく後継者がいない	まちの安全や防災に不安がある	環境が損なわれている	高齢者に対して支え合いが少ない	障がい者に対して支え合いが少ない	子育てに対して支え合いが少ない	子どもの居場所が少ない	子どもと大人との関わりが薄れている	その他	特に課題はない	無回答	
全体結果(n=1,081)	31.7%	14.9%	37.9%	9.2%	17.1%	5.7%	16.2%	6.9%	7.6%	16.4%	17.3%	6.3%	14.7%	4.3%	
年 代 別	20歳代(n=93)	26.9%	9.7%	38.7%	10.8%	21.5%	5.4%	4.3%	4.3%	5.4%	23.7%	15.1%	9.7%	15.1%	1.1%
	30歳代(n=151)	29.1%	9.3%	41.7%	7.9%	19.9%	6.0%	9.3%	7.9%	17.2%	21.9%	14.6%	9.9%	15.2%	2.0%
	40歳代(n=168)	23.2%	11.3%	32.7%	8.9%	15.5%	4.8%	14.3%	9.5%	10.1%	19.6%	13.7%	8.9%	19.6%	1.2%
	50歳代(n=191)	29.3%	15.7%	38.7%	7.9%	18.3%	8.9%	14.7%	5.2%	7.3%	13.6%	15.7%	5.8%	14.1%	3.7%
	60歳代(n=247)	38.9%	20.6%	37.2%	9.3%	15.8%	6.9%	17.8%	5.7%	5.3%	16.2%	22.7%	5.3%	15.4%	3.6%
	70歳代(n=160)	36.3%	15.6%	37.5%	9.4%	16.3%	1.9%	21.3%	7.5%	3.8%	9.4%	18.8%	2.5%	10.0%	11.9%
	80歳以上(n=68)	36.8%	19.1%	41.2%	11.8%	11.8%	4.4%	36.8%	10.3%	1.5%	10.3%	17.6%	1.5%	11.8%	8.8%

問 15 で「住みやすい」と回答した人は全般に課題認識が平均よりも低い。わずかではあるが、「子どもと大人との関わりが薄れている」(17.5%)だけは上記全体結果より高い。また、「住民同士の交流が少ない」(30.9%)は全体結果よりは低い、「住みやすい地域だとは思わない」と回答した人たちのこの項目の選択率 27.3%よりは、1割高くなっている。住みやすいからこそ、もっと交流があっていい(住民同士、子どもと大人の間でも)と認識しているとも考えられる。

【「問 21 あなたが、社会活動に参加していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)】
に対しては、「世話を必要とする家族がいる」(全体結果 17.0%)は 30 歳代のみ高い(34.5%)。「忙しくて時間がない」(全体結果 43.9%、20 歳代 57.8%、30 歳代 59.7%、40 歳代 59.5%、50 歳代 56.7%)といった項目も、若い世代の大変さをあらわしている。

2 社会活動への参加の変化

【問 17 あなたは、社会活動に参加していますか。(○は1つ)】に対して、参加している割合は全体 24.4%であるが、20 歳代 8.6%、30 歳代 21.2%、40 歳代 28.0%、50 歳代 20.9%、60 歳代 29.6%、70 歳代 27.5%、80 歳以上 27.9%と、おおむね年齢が高いと参加率も高い。

【問 18 あなたが参加している社会活動は何ですか。(○はいくつでも)】の回答者は、20 歳代 8 人、30 歳代 32 人というようにそれぞれの母集団が小さいため、傾向をはっきり断言できるものではないが、年代によって活動傾向は異なり、若い方から高齢者に向けて、「地域行事に関わる活動」→「学校支援に関わる活動」→「防犯・防災・交通安全に関わる活動」といったようになっていく(表-6 参照)。

(表-6) 問18 参加している社会活動の内容(年代別)

	文化・芸術に関わる活動	スポーツ・健康づくりに関わる活動	高齢者・障がい者・子育てなどの福祉に関わる活動	地域行事に関わる活動	青少年育成に関わる活動	学校支援に関わる活動	子どもの読書活動推進に関わる活動	防犯・防災・交通安全に関わる活動	災害救援活動	環境保護・環境美化に関わる活動	人権擁護に関わる活動	国際交流に関わる活動	その他	無回答
全体結果 (n=264)	16.3%	22.0%	16.7%	47.3%	6.8%	17.0%	2.7%	18.9%	5.3%	23.1%	0.8%	2.7%	3.8%	0.4%
年代別	20歳代 (n=8)	50.0%	12.5%	25.0%	62.5%	12.5%	12.5%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%
	30歳代 (n=32)	6.3%	28.1%	6.3%	46.9%	6.3%	9.4%	3.1%	12.5%	6.3%	28.1%	0.0%	6.3%	0.0%
	40歳代 (n=47)	4.3%	17.0%	19.1%	48.9%	8.5%	31.9%	8.5%	10.6%	2.1%	14.9%	4.3%	2.1%	0.0%
	50歳代 (n=40)	12.5%	7.5%	22.5%	42.5%	12.5%	17.5%	2.5%	20.0%	7.5%	15.0%	0.0%	2.5%	0.0%
	60歳代 (n=73)	21.9%	21.9%	16.4%	45.2%	2.7%	12.3%	1.4%	19.2%	4.1%	23.3%	0.0%	2.7%	4.1%
	70歳代 (n=44)	22.7%	34.1%	13.6%	50.0%	9.1%	15.9%	0.0%	22.7%	6.8%	40.9%	0.0%	2.3%	4.5%
	80歳以上 (n=19)	21.1%	31.6%	21.1%	47.4%	0.0%	15.8%	0.0%	42.1%	10.5%	21.1%	0.0%	0.0%	10.5%

【問 19 あなたが、社会活動に参加したきっかけは何ですか。(○はいくつでも)】も同様に、若い方から、「学校時代の経験を通じて」→「知人や団体からお願いされたから」→「地域や社会をよりよくしたいから」と変わっていく。

個人的なものから、つながりが生まれ、そしてより高次なものへと進んでいく。社会性を高める教育や学習は、従来青年期を主に対象としてきたが、今後は、壮年期・高齢期についても、地域社会との関係を良好なものにしていく学習が必要と考えられる(表-7 参照)。

(表-7) 問19 社会活動に参加したきっかけ(年代別)

	講座等を通じて興味・関心を持ったから	団体やグループ・サークル活動を通じて	学校時代の経験を通じて	身近な人の介護・支援に関わった経験を通じて	ポスターやチラシ、広報紙などを見て	テレビやラジオ、新聞などから	学校からの配布物を見て	インターネットを見て	知人や団体からお願いされたから	友達に誘われたから	地域や社会をよりよくしたいから	大災害が起こったから	自分のためになると思ったから	その他	無回答
全体結果 (n=264)	8.0%	29.5%	5.3%	6.8%	8.7%	5.3%	6.4%	2.7%	37.5%	15.2%	28.8%	3.0%	29.9%	6.4%	0.4%
年代別	20歳代 (n=8)	25.0%	12.5%	37.5%	25.0%	12.5%	12.5%	12.5%	25.0%	37.5%	12.5%	0.0%	37.5%	0.0%	0.0%
	30歳代 (n=32)	3.1%	21.9%	12.5%	3.1%	12.5%	3.1%	15.6%	0.0%	34.4%	3.1%	31.3%	3.1%	15.6%	3.1%
	40歳代 (n=47)	4.3%	17.0%	6.4%	4.3%	10.6%	0.0%	17.0%	4.3%	53.2%	10.6%	12.8%	0.0%	29.8%	8.5%
	50歳代 (n=40)	5.0%	25.0%	0.0%	12.5%	0.0%	2.5%	5.0%	2.5%	30.0%	10.0%	22.5%	7.5%	22.5%	10.0%
	60歳代 (n=73)	11.0%	31.5%	2.7%	8.2%	6.8%	5.5%	0.0%	4.1%	28.8%	17.8%	39.7%	4.1%	30.1%	5.5%
	70歳代 (n=44)	9.1%	45.5%	4.5%	2.3%	11.4%	11.4%	2.3%	0.0%	38.6%	18.2%	31.8%	2.3%	45.5%	6.8%
	80歳以上 (n=19)	10.5%	47.4%	0.0%	5.3%	10.5%	10.5%	0.0%	0.0%	57.9%	31.6%	31.6%	0.0%	31.6%	5.3%

3 地域の中の活動予備軍

【問4 あなたは、何らかの生涯学習活動を行っていますか】で選択肢2「特に行っていない」と回答した人(A)、【問10 あなたは、今後、生涯学習活動を行いたいと思いますか】に選択肢2「気持ちはあるが、いろいろな事情でできないと思う」と回答した人(B)、選択肢3「行いたいと思わない」と回答した人(C)、【問22 あなたは、今後、社会活動に参加したいと思いますか】に選択肢2「参加したいが、いろいろな事情でできないと思う」と回答した人(D)、選択肢3「参加したいと思わない」と回答した人(E)として、重なりはあるがこのA～Eを「不活発者」としておく。生涯学習や社会活動をすでに行っていたり今後参加意向のある人だけでなく、この、いわば活動予備軍の人たちが社会活動を行うようになることが、より一層の地域活性化を招来し、住みよい・住みたいまちづくりにつながると考えられる。そこで、不活発者の意識に注目した施策の方向性を探索する。

不活発者であっても参加している社会活動(問18)としては、「地域行事に関わる活動」と「防犯・防災・交通安全に関わる活動」があり、不活発者は全般に他の活動に参加しないため、この2つの活動への参加率が相対的に高くなっている。不活発者を活発に変えるためには、参加しやすいこの2つの活動を充実させるのか、あるいは他の参加率の低い活動への誘導を行うか、考え方の分かれるところであろう(表-8参照)。

(表-8) 問18 参加している社会活動の内容(A～E区分者)

		文化・芸術に関する活動	スポーツ・健康づくりに関わる活動	高齢者・障害者・子育てなどの福祉に関する活動	地域行事に関する活動	青少年育成に関する活動	学校支援に関する活動(学校支援ボランティア・サーブ・テストスタッフなど)	子どもの読書活動推進に関する活動(絵本の読み聞かせ・ブックスタートボランティアなど)	防犯・防災・交通安全に関する活動	災害救援活動	環境保護・環境美化に関する活動	人権擁護に関する活動	国際交流に関する活動	その他	無回答
	全体結果 (n=264)	16.3%	22.0%	16.7%	47.3%	6.8%	17.0%	2.7%	18.9%	5.3%	23.1%	0.8%	2.7%	3.8%	0.4%
A	問4 生涯学習を行っていない (n=64)	1.6%	7.8%	7.8%	67.2%	10.9%	14.1%	1.6%	26.6%	4.7%	21.9%	0.0%	0.0%	3.1%	0.0%
B	問10 生涯学習活動への意向はあるが、不能 (n=42)	0.0%	14.3%	14.3%	61.9%	7.1%	9.5%	2.4%	31.0%	4.8%	26.2%	0.0%	0.0%	4.8%	0.0%
C	問10 生涯学習活動を行いたいと思わない (n=14)	0.0%	0.0%	7.1%	71.4%	14.3%	14.3%	0.0%	35.7%	7.1%	21.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
D	問22 社会活動への参加意向はあるが、不能 (n=33)	0.0%	15.2%	3.0%	57.6%	3.0%	9.1%	0.0%	36.4%	6.1%	18.2%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%
E	問22 社会活動に参加したいと思わない (n=9)	0.0%	0.0%	11.1%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	11.1%	0.0%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

社会活動に参加したきっかけ(問19)も、「知人や団体からお願いされたから」(全体結果37.5%、A51.6%、B45.2%、C50.0%、D42.4%、E55.6%)という選択肢が高い。自分から情報収集等をしないのであるから、活発化に向けるにはかなりの工夫が必要であろう。

活発化するための施策を聞いた【問 25 あなたは、市民が社会活動に参加しやすくなるために、新潟市は何に力を入れたらよいと思いますか。(〇は3つまで)】の回答をみると、「社会活動などの情報に関する広報を充実する」(全体結果 57.3%、B 59.1%、D 62.6%)、「社会活動のために利用できる施設を増やす」(全体結果 23.7%、B 28.5%、D 29.0%)、「社会活動に参加しやすい環境をつくるため、行政から企業に働きかける」(全体結果 21.4%、B 28.1%、D 25.7%)といった部分が高くなっている。A・C・Eは全般的に回答率が低くなっているのに対し、B・Dは全体結果より高い回答を示す項目があるわけで、活動条件を整えば活発化する可能性が読み取れる(表-9 参照)。

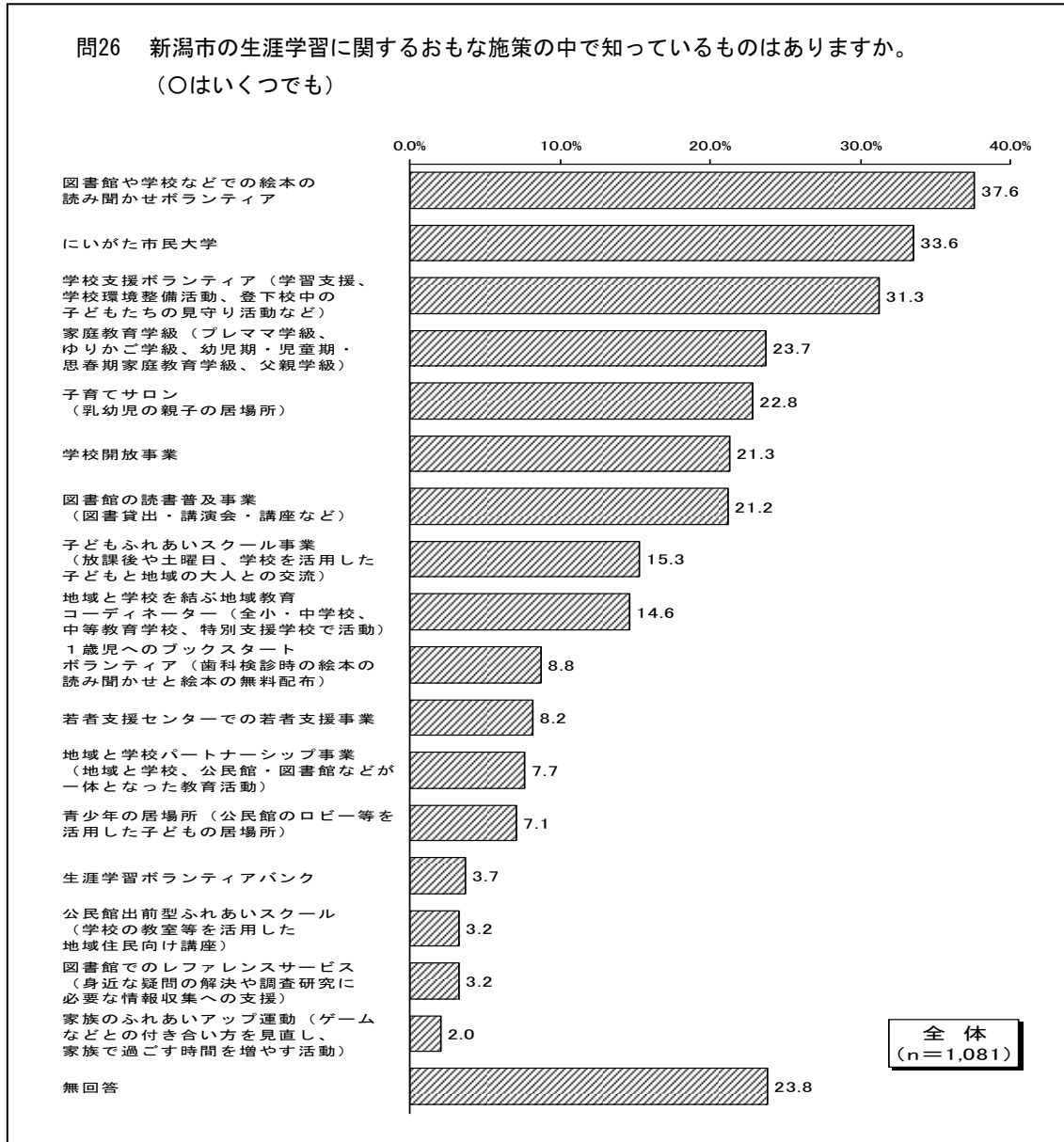
(表-9) 問25 施策への要望(A~E区分者)

		社会活動などの情報に関する広報を充実する	社会活動のための人材養成講座を充実する	市民と行政の協働を強化する	社会活動のために利用できる施設を増やす	学校施設をもっと地域に開放する	社会活動についての相談窓口を各区に設置する	市民活動支援センターを周知するとともに、使いやすさを向上する	社会活動に参加しやすい環境をつくるため、行政から企業に働きかける	その他	無回答
	全体結果 (n=1,081)	57.3%	20.3%	19.0%	23.7%	13.2%	11.5%	22.7%	21.4%	3.2%	10.7%
A	問4 生涯学習を行っていない (n=579)	54.1%	17.4%	16.1%	20.9%	12.3%	11.7%	20.9%	22.6%	3.5%	14.0%
B	問10 生涯学習活動への意向はあるが、不能 (n=242)	59.1%	18.6%	16.1%	28.5%	13.6%	13.2%	21.9%	28.1%	1.7%	6.2%
C	問10 生涯学習活動を行いたいと思わない (n=195)	40.5%	10.8%	15.9%	13.8%	11.3%	9.2%	14.9%	14.9%	4.6%	26.2%
D	問22 社会活動への参加意向はあるが、不能 (n=369)	62.6%	24.1%	18.2%	29.0%	16.0%	11.7%	22.0%	25.7%	1.9%	5.7%
E	問22 社会活動に参加したいと思わない (n=325)	44.3%	14.2%	13.5%	17.2%	8.9%	9.5%	19.7%	17.2%	4.6%	18.5%

したがって、不活発者の中でも「生涯学習をしたい気持ちはあるけれど・社会活動に参加したいけれど、いろいろな事情でできない」と思っている人たちを社会活動の予備軍ととらえ、この人たちが活動できるようになる条件を整える施策を考えるべきであろう。

3 生涯学習施策について

新潟市の生涯学習施策の認知状況



— 「図書館や学校などでの絵本の読み聞かせボランティア」の認知度が高い。—

新潟市の生涯学習施策の認知状況について聞いた。

【全体結果の要約】

「図書館や学校などでの絵本の読み聞かせボランティア」(37.6%) が最も多い。

以下、「にいがた市民大学」(33.6%)、「学校支援ボランティア（学習支援、学校環境整備活動、登下校中の子どもたちの見守り活動など）」(31.3%) が3割台で続く。

(表—10) 問26 施策の認知状況(年代別)

	家庭教育学級(プレママ学級、ゆりかご学級、幼児期・児童期・思春期家庭教育学級、父親学級)	子育てサロン(乳幼児の親子の居場所)	1歳児へのブックスタートボランティア(歯科検診時の絵本の読み聞かせと絵本の無料配布)	図書館や学校などでの絵本の読み聞かせボランティア	子どもふれあいスクール事業(放課後や土曜日、学校を活用した子どもと地域の大人との交流)	地域と学校パートナーシップ事業(地域と学校、公民館・図書館などが一体となった教育活動)	地域と学校を結ぶ地域教育コーディネーター(全小・中学校、中等教育学校、特別支援学校で活動)	学校支援ボランティア(学習支援、学校環境整備活動、登下校中の子どもたちの見守り活動など)	家族のふれあいアップ運動(ゲームなどとの付き合い方を見直し、家族で過ごす時間を増やす活動)	
全体結果 (n=1,081)	23.7%	22.8%	8.8%	37.6%	15.3%	7.7%	14.6%	31.3%	2.0%	
年代別	20歳代 (n=93)	19.4%	18.3%	6.5%	39.8%	6.5%	4.3%	10.8%	26.9%	2.2%
	30歳代 (n=151)	37.1%	31.8%	28.5%	35.1%	11.9%	6.0%	10.6%	27.2%	0.7%
	40歳代 (n=168)	36.3%	26.2%	13.7%	53.0%	26.8%	16.7%	30.4%	39.9%	4.2%
	50歳代 (n=191)	22.5%	23.6%	5.2%	39.3%	14.1%	7.9%	18.3%	33.0%	1.0%
	60歳代 (n=247)	19.8%	22.3%	3.2%	37.2%	18.2%	8.1%	10.9%	32.0%	1.6%
	70歳代 (n=160)	15.6%	18.8%	2.5%	25.0%	14.4%	3.1%	10.6%	31.9%	1.3%
	80歳以上 (n=68)	4.4%	10.3%	1.5%	25.0%	1.5%	2.9%	2.9%	17.6%	5.9%

	若者支援センターでの若者支援事業	青少年の居場所(公民館のロビー等を活用した子どもの居場所)	公民館出前ふれあいスクール(学校の教室等を活用した地域住民向け講座)	学校開放事業	図書館の読書普及事業(図書貸出・講演会・講座など)	図書館でのレファレンスサービス(身近な疑問の解決や調査研究に必要な情報収集への支援)	いがた市民大学	生涯学習ボランティアバンク	無回答	
全体結果 (n=1,081)	8.2%	7.1%	3.2%	21.3%	21.2%	3.2%	33.6%	3.7%	23.8%	
年代別	20歳代 (n=93)	14.0%	12.9%	1.1%	14.0%	19.4%	6.5%	15.1%	3.2%	24.7%
	30歳代 (n=151)	6.6%	6.0%	0.7%	13.9%	27.2%	4.6%	23.8%	1.3%	15.9%
	40歳代 (n=168)	11.3%	10.7%	3.6%	30.4%	23.8%	6.0%	29.2%	4.2%	16.7%
	50歳代 (n=191)	11.5%	5.8%	3.7%	28.8%	16.8%	2.6%	41.4%	4.2%	20.9%
	60歳代 (n=247)	8.9%	6.9%	4.5%	22.3%	23.9%	2.0%	42.5%	4.9%	22.7%
	70歳代 (n=160)	1.3%	2.5%	3.1%	15.6%	16.3%	1.3%	33.8%	3.8%	37.5%
	80歳以上 (n=68)	0.0%	8.8%	5.9%	14.7%	19.1%	0.0%	35.3%	1.5%	38.2%

「地域と学校を結ぶ地域教育コーディネーター」など、施策によっては、年代による認知度の差がみられる。

Ⅲ 自由記述

本調査における自由記述は、回答者全体（1,081人）の約2割にあたる202人からさまざまな意見が寄せられた。

内容については、以下の項目に整理・分類し、抜粋して掲載した。

- 1 「生涯学習」という言葉について
- 2 情報に関するもの
- 3 時間に関するもの
- 4 場所に関するもの
- 5 費用に関するもの
- 6 人間関係に関するもの
- 7 行政への要望
 - (1) 講座に対しての要望
 - (2) 市の事業に対してのご意見
 - (3) 生涯学習活動を社会活動に結びつけるには
- 8 その他

1 「生涯学習」という言葉について

- ・生涯学習活動、社会活動共に、意味自体を知らない。そういう人間に対して、どういふものなのかを説明する必要があるのではないか。説明があつて理解できれば、興味がなかったものに興味がわく可能性があると思うし、事情を知つてできないと思う場合もあるだろう。とにかくどういふものか説明することから始めていただきたい。

【男性／30歳代／中央区】

- ・まず「生涯学習活動」といふのがわかりづらいので「ボランティア活動」なり「社会活動」又は「学習活動」とひとくくりにして、そこから枝分けして欲しい。継続したボランティア活動、社会のあらゆる場面での市民による活動が盛んになれば、おのずと地域活性化につながるし、個人の満足感につながると思うので、市にはわかりやすい方法で情報を提供していただきたい。図書館などでも社会活動について知れたら良いと思う。

【女性／30歳代／中央区】

- ・生涯学習というイメージが、子どもや若い世代、老人などが活動する場というように思う。30～40代の者が参加している活動のイメージがつかめない。そもそも生涯学習は、何を核としているのか。

【女性／40歳代／中央区】

- ・生涯学習という、会社をリタイヤした世代が行うものというイメージがあり、公民館などの行事も、内容的に、また昼間に行くことから、実際にそうなのだと思う。20～40代くらいの勤め人にとっては関心があつても、なかなか参加しづらい。思い切って参加者の世代を限定した企画を試行し、活動のきっかけとなる機会を提供すると良いのではないか。

【男性／30歳代／北区】

- ・生涯学習活動、社会活動などと、大人になってから急に言われても意味がわからない。一部の意識の高い人や、色々な意味で余裕がある極々一部の人の為のものでしかない。今のままでは税金の無駄遣いだと思う。本当に市民に広く利用してもらいたいなら、低年齢時から教育（生涯学習、社会活動の意味、歴史、具体的内容、必要性等々）が必要。

【男性／30歳代／江南区】

- ・必要性は感じるが、まだ特定の人がやることというイメージが強く、誰もが参加して当たり前という風潮にはなっていないと感じる。レクリエーションがてら子どもだけやファミリーで参加できるもの、学校や職場単位で参加できるものなどがあると、敷居が低くなって参加者も増えるのではないか。

【女性／40歳代／中央区】

2 情報に関するもの

- ・メディア等を使って、もっと周知、実況、報告、評価をしたら参加しやすくなり、やりがいももっと出てくると思う。

【男性／30 歳代／江南区】

- ・生涯学習活動も社会活動もきっかけが必要。ただし、心や時間、体力のゆとりがないと難しい。新潟市も色々やっているが、「市報にいがた」は、小さい字がいっぱいいて読むという気持ちにあまりならない。

【女性／50 歳代／中央区】

- ・インターネットを利用した情報公開の充実。わかりやすいホームページを作る。公民館や市役所でホームページの閲覧ができるようにする。

【女性／50 歳代／西区】

- ・生涯学習活動は情報の中から自分で選んで参加できるが、社会活動は行われているのがわかっていても、その為の資格、条件等、具体的な内容、どこにどのように連絡したらよいかわからない。

【女性／60 歳代／江南区】

- ・わざわざ調べなくても、ふと目に留まるような広報であったなら「こんなものもあるんだ」と興味を持つかもしれない。生活している中で、そういったことが少ない。

【女性／30 歳代／秋葉区】

- ・退職後、今までの環境の変化から、取り残されている不安感がある。コミュニティや公民館活動など、広報を通じて内容を教えてほしい。趣味には楽しみがあり、生きがいや心の健康に通じると思う。多くの方が活動を通して触れ合い、参加できる環境を求めている。

【男性／60 歳代／中央区】

- ・市民活動支援センターがどこにあるのかわからない。もっと目に付く場所で広報してはどうか。新聞、チラシ、テレビ、ラジオ、新潟情報誌などで。

【女性／40 歳代／中央区】

- ・講座の情報などは、実施される建物（公民館やコミュニティセンター）等しかわからない場合が多い。実際にその場所に足を運んでいかないと、わからない場合が多い。いざ、何かを受けたいと思っても、どうして良いかわからない。

【女性／40 歳代／東区】

- ・「市報にいがた」的なものに、もっと情報を載せて広報すべき。若い世代は新聞を取っていない世帯も多いので、民間が全世帯に配布する冊子に添付したらよいのではないか。

【男性／20 歳代／西区】

- ・生涯学習活動や社会活動を行うにあたり、活動をする方法や場所がわからない。広報活動が足りないと思う。市民が活動をしやすい場所の提供や、気軽に参加できる講習・スクールなどを企画立案して欲しい。

【女性／40 歳代／西区】

- ・社会活動などに参加したいという意志はあるが、気軽に参加できる環境が整っていない。もっと行政が積極的に呼びかけるべき。活動の紹介も全くされていないと思う。個々の活動を紹介するような紙面（連絡先なども含め）があれば良いと思う。

【女性／30 歳代／西区】

- ・最近、なんでも「詳しくはインターネットで…」といわれることが多い。高齢者にはパソコンそのもの、携帯さえも持っていない人もいる。高齢者に知らせるための手だてを考慮してほしい。

【女性／60 歳代／北区】

- ・子どもがいないと学校関係（子どものこと）など無縁。こんな立場の人間でも活動できるように、内容をもっとわかりやすく説明してほしい。

【女性／50 歳代／北区】

- ・これから活動するには、基本的に個人で参加しようとする人はいないと思う。グループ等に属して参加を考えると、個人がグループ等に参加しやすい環境が必要。グループがある事を知らないし、知っていてもどうやってコンタクトを取るかかわからない。どういった活動を、どのようにしているのか。情報が周囲に行き届いて認知されているような環境なら、参加しやすいと思う。

【男性／30 歳代／江南区】

3 時間に関するもの

- ・大学の頃、生涯学習について学び感動したが、社会人になり、結婚し、子どもができると、自分磨きはなかなかできないし、事業への参加も難しい。

【女性／30 歳代／南区】

- ・社会活動の中で、2011 年 3 月 11 日の震災以降の地域活動に関心を強く持っているが、仕事が多忙で何もできていない。新潟でもいつ同じ震災が発生してもおかしくない。仕事と社会活動の両立ができるよう努力したい。

【男性／50 歳代／東区】

- ・講座の夜の部がもっと多くあれば参加しやすい。午前の部、午後の部だけでは、在宅の人くらいしか利用できない。

【女性／50 歳代／中央区】

- ・仕事以外にできた自由な時間はゆっくり体を休めたい。時間を作って学習、社会活動する時間が取りづらい。家族サービスもあるし…。

【男性／40 歳代／西蒲区】

- ・フルタイムで働いているとなかなか時間が取れないが、ゆくゆくは何かしらの社会活動に参加したいと思っている。市民大学にもとても興味がある。今後受けられるものがあったら、ぜひ受けたい。

【女性／40 歳代／東区】

- ・小学生の子が2人いて、フルタイムで働いているので、習い事をしたくても時間がまだないが、子どもが成長し手が空いてきたら少しずつ始めていきたい。

【女性／40 歳代／東区】

- ・育児休業中は、新潟市の素晴らしい子育て支援活動によく参加したが、仕事に復帰した今は、全く参加できていない。土日などを使って参加できる活動があればぜひ参加したい。土日の活動をぜひ増やしてほしい。

【女性／30 歳代／西区】

- ・家庭教育学級に参加したいと思っけていても、午前中のみだったり平日のみだったり、仕事をしている人には参加が難しい。子育てサロンも場所を増やし、初めての人も気軽に参加しやすいようにしてほしい（教育学級、サロン両方とも固定のグループにいるため、1人で行ったり初めての人は入りづらいイメージ）。

【女性／30 歳代／西区】

- ・何かやりたい、地域に貢献したい気持ちはあっても、生活に余裕がなく、あくせくしている毎日。特に社会活動は経済的、時間的余裕のある人中心ではないかと思っている。「30分でできるボランティア」「1時間でできるボランティア」などと提示してもらい、コーディネートしてもらえらるならできることもあるかもしれない。

【女性／50 歳代／中央区】

4 場所に関するもの

- ・旧市内は公民館等の施設が老朽化して狭い為、使用に制限が多すぎて不便。
【女性／60 歳代／西区】
 - ・地域に健康づくりなど夕方から活動する居場所が少ない。
【女性／60 歳代／東区】
 - ・音楽活動の場、施設を充実させて欲しい（音楽に力を入れて欲しい）。
【男性／20 歳代／西蒲区】
 - ・若い人達の学習の場が多いが、健康な年寄りを生かせる場が少なすぎる。
【女性／70 歳代／北区】
 - ・活動に参加したくても交通手段が少なく、一日も早く交通網を整備してほしい。
【女性／70 歳代／西区】
-

5 費用に関するもの

- ・趣味を持ったりボランティア活動をしたいと思っても、不況、定職に就けないなど、生活するのに必死な人が大多数。市や国などがお金を出して趣味を収入に結びつけたり、社会活動を職業にしていく政策が必要。
【女性／50 歳代／中央区】
- ・「何故支援しないと市民は参加しないのか」この質問にまっすぐに向き合えば、回答は出ると思う。学習したくてもお金がないから参加できない人がどれだけいるかを知る方が、市がどういった取り組みをしたら良いか聞くアンケートよりも、断然効率が良いと思う。
【男性／30 歳代／東区】
- ・生涯学習などのゆとりはない。衣食住が1人でまかなえない環境である。徒歩で買い物にいける雑貨食料品店が必要。
【男性／70 歳代／中央区】
- ・年金を含め年齢を重ねた時の生活の不安、自分の生活もままならない今、人の為よりもまず自分の為が優先してしまう。
【女性／50 歳代／西区】
- ・ボランティアが多く、金銭的に負担になる。
【男性／50 歳代／東区】

6 人間関係に関するもの

- ・サラリーマンで休日以外に時間が取れないため、参加がためられる。知り合いがいないと参加しづらい。気軽に参加できる雰囲気欲しい（一度参加したら抜けられない感じ）。

【男性／40 歳代／中央区】

- ・新しい人間関係を作るのは面倒。たまたま何かの活動に入ることになるのは可。

【女性／70 歳代／中央区】

- ・共通の目的に向かう人との交流が深まり楽しい。しかし、地域の人間関係が難しい。

【女性／70 歳代／秋葉区】

- ・生涯学習という言葉に違和感がある。仕事の時間が不規則なので、毎週行くということが無理（スクールとか）。高齢の方とか専業主婦の方とかとの温度差があると思う。人間関係が面倒くさそう。子どもが大きくなって仕事もやめたら、習い事してみたい。

【女性／30 歳代／南区】

- ・社会活動を含め、色々なことに参加したいと思っているが、仲間がいないとなかなか機会に恵まれない。もう少し地域との関係を作って、活動に参加したい。

【男性／60 歳代／秋葉区】

7 行政への要望

(1) 講座に対しての要望

- ・「子ども向け職業体験型テーマパーク」みたいなものは喜ばれるのでは。業者に依頼して子どもたちにリアルな社会体験をさせる。ニート対策や、就労者不足の職業の人材力アップなど狙えるのではないか。

【女性／40 歳代／中央区】

- ・子どもたちに日本の伝統芸能等の身近に良いものを見せる機会があれば、子どもから大人まで共通の居場所作りができて色々な面で底上げや、思いやり等を学ぶことができるのではないか。

【女性／60 歳代／西区】

- ・現在、ふれあいスクールや、地域・子どもを巻き込む形での協働が増える中、それに携わる人々のスキルアップの機会が少ない気がする。「学習しましょう」形式の勉強会だけでなく、日ごろ子どもと接していてこういうことを聞きたい、こういう場合はどうすれば良いのかを教えてくれる立場の方を求める声も多い。

【女性／40 歳代／中央区】

- ・生涯学習の講座に「防災」「農業」の専門の方の話の聞くことができる講座があると良い。「防災」は、県内は2回も地震があり、意識が高いと思うが、新潟市は他市より意識が低いため、これを機会に市民の意識を高めて欲しい。「農業」は、今家庭菜園をしている家も多く、育て方などを通して食の安全や価格などを学ぶことができると思う。また、子どもがいる家庭では食育も学べると思う。

【男性／50 歳代／中央区】

- ・地域には公民館活動や、高齢者大学や区関係の健康講座、スポーツ等がかなりある。教育委員会の生涯学習の内容は知らないけど、そんなにあれこれいらないうと思う。市全体で統一して、重複しないよう効率的にやって欲しい。

【女性／70 歳代／江南区】

- ・新潟市も大きくなり、他の地域、他の区との交流会、勉強会などがあっても良いのではないかと。旧新潟市のことは知っていても、合併後の地域はよく知らないことが多いので。

【男性／30 歳代／中央区】

- ・定年後も生涯学習活動を安定して継続していきたいと思っている。地域での高齢者支援活動も活発化するために60歳代～70歳代の退職者を主体とした技能を生かした活動の場があったら良いと思う。

【女性／50 歳代／東区】

- ・要介護等の人たちでできるような何かあったら良いのではないかと。あとは幼児を施設に遊びに生かせるようなことも一種の社会活動と思う。

【女性／70 歳代／秋葉区】

(2) 市の事業に対してのご意見

- ・政令市に移行してから、市民に対するきめ細かい対応がない。各地区のコミュニティ協議会などへ業務を押し付けすぎる。市としての取り組みが全く見えてこない気がする。

【男性／60 歳代／中央区】

- ・東京に住んでいた時と比べて、子育て支援が少ない。子育て支援がもう少し充実していれば、色々な活動に参加できると思う。支援センターやいくとぴあなどの「ハコモノ」は充分にあるので、その他の方法で支援して欲しい。

【女性／30 歳代／中央区】

- ・PTA活動を主にしているが、地域パートナーシップ事業との連携があまり良くない。パートナーシップ事業が学校行事や保護者とどこまで関わりを持つのかははっきりしていない。保護者の多くはPTAとの区別が明確でないようだ。

【女性／40歳代／西区】

- ・生涯学習や社会活動はとても大切な活動だと思うが、財政難や人員不足で、社会教育すべき内容がかなり学校に依存されているようで、教員の多忙化につながっている。そのため肝心の学力向上の基盤が危うくなっているように思う。行政の方で全ての社会教育活動を実施できるようにしてもらいたい。

【男性／50歳代／西蒲区】

- ・新潟市の生涯学習施策がほとんど認知されていない。まず、これの解決をしてほしい。

【男性／40歳代／東区】

- ・旧行政地区ごとに、生涯学習や社会活動の希望を調査してみたら良いのでは。趣味や考えの多様化する中で、催しを行う場合において、1人でも多くの人から参加してもらえる行事を開催してもらいたいと思う。

【男性／50歳代／江南区】

- ・行政だけでやろうとするのは、今後は無理があると感じる。民間企業や市民等と協同で進めることが、市民のためにも良いのではないか。興味のある人は既にアンテナを張ってそういったものに敏感になっているだろう。良いきっかけ作りをいかにしかけるか…、ということだろうか。

【男性／30歳代／江南区】

- ・東区は子どもが多く、家庭教育学級の応募は毎回大勢が集まり、行けない人が多い。もう少し募集人数を増やし、子育てについて講座を増やして欲しい。

【女性／30歳代／東区】

- ・参加したいと思う講座等があっても、募集人員の数が少なく、参加できない（10名とか12名等）。もっと多数参加できるようにしてもらいたい。

【女性／70歳代／秋葉区】

- ・「生涯学習」「社会活動」と聞いても、具体的にどんなことがあるか、どんなことをすれば良いかわからない。パンフレットにまとめると、より身近に感じやすいのではないかと思う。また、土日も仕事をしているので、平日でも参加しやすい企画があるなら、ぜひ参加してみたい。

【女性／20歳代／秋葉区】

- ・問 26 に記載されている色々な新潟市の施策の一つ一つが果たして内容的に本当に充実しており、参加者は多勢いて、満足しているのかどうか、実態はどうやって具体的に把握できるのか。たまにチラシのような印刷物を見る時もあるが、自分に開わりがあるような実感が少しも響いてこない。

【男性／80 歳以上／西蒲区】

(3) 生涯学習活動を社会活動に結びつけるには

- ・生涯学習活動、社会活動は各自に強制されるべき事柄ではないが、行政としての取り組みとしては、学校や企業への広報活動を通じて、その意義等について周知していくしかないのではないか。

【男性／40 歳代／中央区】

- ・「新潟市を盛り上げよう、良くしよう、子どもたち、お年寄りに優しい町にしよう、アートをもっと有効活用、そして身近に。」という考えを持って活動をしようと思っている。場所だけ貸してくれれば、必ず市民のためになる活動ができるのに、と確信している。そういう団体とすぐに手を組めないものか。

【女性／40 歳代／中央区】

- ・現在、公民館で活動しているが、その学習の成果を市報などで発表できれば情報がより効果的になると思う。

【女性／80 歳以上／中央区】

- ・いくつになっても学ぶことは大切だと思い、色々な講座に顔を出しているが、情報が少ないのも事実。また、資格をもらっても活動の場が限られている。

【女性／60 歳代／北区】

- ・共働きが急増し、子育て、家事と自分の時間が持てないのが現状。しかし、仕事に関することで勉強が必要であり、職場のスキルアップ研修に参加していることが、学習となっている。今後なかなか外へ出られない人に向けての小冊子等、息抜きのできる簡単なものがあればと思う。残念ながら、今あるものはすぐゴミ箱へ行ってしまう。捨てられない工夫も必要。

【女性／40 歳代／西区】

- ・生涯学習で学んだことを社会活動に結びつけられるネットワーク作りができればと思う。ネットワーク作り支援のできる新潟独自の資格等の工夫で、個々の意欲を高めるのも良いかもしれない。社会活動に対するポイント付け、老後そのポイントで自分達の生活が向上できる等も良い。

【無回答／無回答／無回答】

8 その他

- ・地域とのつながりは、生涯を通しての生きがいとなる。どんどん入り込んで、自分のできることを探していきたい。

【男性／60歳代／秋葉区】

- ・今回このアンケートに参加することで、改めて自分が生まれ育った新潟市に思いをめぐらした。施設を使いこなしていなかったことがもったいない。「生涯学習活動」ができることは大変幸せなことであるし、生きている間はずっと学習し続けたいと思っている。「社会活動」に参加したくて、現在勉強中の私の「力」を活用できる日が1日も早く来るように、更に努力したい。

【女性／60歳代／東区】

- ・改めて生涯学習や社会活動について考える機会になった。現在は身近な町内会の役員として参加するだけで精一杯だが、少しでも人の役に立てる活動をしたいと思う。

【女性／50歳代／西区】

- ・男性の参加が少ないので、男性にどうしたら良いか意見を聞く。外に出るようになれば、健康で寿命も延びると思う。夫の介護で出られなくなる人も減ると思う。

【女性／60歳代／江南区】

- ・市で色々な生涯学習をやっているのに驚いた。自分でできるものにはチャレンジしていきたい。最近では地域の人たちとの交流が少なくなっているから、社会活動に参加して交流を深めたいと思う。

【女性／50歳代／北区】

IV 全体結果数表

問1 あなたの性別をお答えください。(どちらかに○)

	合計 (%ベース)	男性	女性	無回答
*** 全体結果 ***	1,081 100.0%	472 43.7%	601 55.6%	8 0.7%

問2 あなたの年齢をお答えください。(平成25年6月1日現在の満年齢でご記入ください。)(○はひとつだけ)

合計 (%ベース)	20歳代 (20歳～ 29歳)	30歳代 (30歳～ 39歳)	40歳代 (40歳～ 49歳)	50歳代 (50歳～ 59歳)	60歳代 (60歳～ 69歳)	70歳代 (70歳～ 79歳)	80歳以上	無回答	
*** 全体結果 ***	1,081 100.0%	93 8.6%	151 14.0%	168 15.5%	191 17.7%	247 22.8%	160 14.8%	68 6.3%	3 0.3%

問3 あなたのお住まいは何区ですか。(○はひとつだけ)

合計 (%ベース)	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	無回答	
*** 全体結果 ***	1,081 100.0%	97 9.0%	183 16.9%	249 23.0%	83 7.7%	112 10.4%	65 6.0%	221 20.4%	67 6.2%	4 0.4%

問4 あなたは、何らかの生涯学習活動を行っていますか。(どちらかに○。具体例は問5の学習内容を参考にしてください。)

合計 (%ベース)	行っている	行っていない	無回答	
*** 全体結果 ***	1,081 100.0%	499 46.2%	579 53.6%	3 0.3%

問5 あなたが行っている生涯学習活動は何ですか。(○はいくつでも)

該当者 合計 (%ベース)	趣味など を楽しんだり、技 能を深め たりする もの(音 楽、手 芸、茶 道、書道 など)	スポー ツ・レクリ エーション (球技、 ダンス、 ハイキン グ、格技 など)	健康の維 持や管理 に関する もの(健 康法、ヨ ガ、看護 や介護法 など)	文化・教 養的なも の(歴 史、文 学、演 劇、文 芸、語学 など)	職業上必 要な知 識、技術 に関する もの(仕 事に関係 する知 識・技 術、ハン コン操作 など)	社会問題 や社会の 変化に対 応するも の(経 済、人 権、男女 共同参画 など)	地域社会 の理解や 振興に関 するもの (まちづく り、伝統 芸能、自 然環境な ど)	子育てや 教育に関 するもの (家庭教 育、幼児 教育、教 育問題な ど)	家庭生活 の向上に 関するも の(料理・ 編み物・ 園芸・日 曜大工な ど)に関する 知識や 技術、消 費生活な ど)	その他	無回答	
*** 全体結果 ***	499 100.0%	192 38.5%	211 42.3%	115 23.0%	109 21.8%	153 30.7%	28 5.6%	44 8.8%	53 10.6%	134 26.9%	22 4.4%	2 0.4%

問6 あなたが、生涯学習活動を行う目的や動機は何ですか。(〇はいくつでも)

該当者 合計 (%ベース)	仕事や職 業に役立 てるため	資格をと るため	知識・教 養を高め るため	体力づく りや健康 管理のた め	子育てや 教育に関 する知識 を深める ため	日常生活 に関する 知識や技 術を高め るため	趣味、芸 能、芸術 などを楽 しんだり、 技能を高 めたりす るため	生きがい をもつた め	自由時間 を有効に 活かすた め	他の人と の親睦を 深め友人 を得るた め	地域との 関わりが 深められ るため	地域や社 会の活動 に役立て るため	
*** 全体結果 ***	499 100.0%	156 31.3%	55 11.0%	191 38.3%	257 51.5%	42 8.4%	102 20.4%	208 41.7%	223 44.7%	157 31.5%	171 34.3%	63 12.6%	74 14.8%

該当者 合計 (%ベース)	その他	特に理由 はない	無回答	
*** 全体結果 ***	499 100.0%	12 2.4%	4 0.8%	5 1.0%

問7 あなたは、おもにどんな方法で生涯学習活動を行っていますか。(〇はいくつでも)

該当者 合計 (%ベース)	公民館や 生涯学習 センター・図 書館が主 催する学 級・講座 などで	上記以外 の市や県 が主催す る学級・ 講座など で	学校(大 学・専門 学校など) の講座 などで	コミュニ ティ協議 会やPT Aなど地 域の団体 が行う講 座などで	カル チャーセ ンターや スポーツ クラブな どの民間 の教室や 講座など で	自主サー クル・グ ループ活 動などで	通信教育 で	本や新 聞、テレ ビ・ラジ オを利用 して	パソコン やイン ターネッ トを通じ て	個人教室 で(習い 事など)	その他	無回答	
*** 全体結果 ***	499 100.0%	87 17.4%	61 12.2%	35 7.0%	40 8.0%	121 24.2%	164 32.9%	37 7.4%	161 32.3%	109 21.8%	74 14.8%	47 9.4%	9 1.8%

問8 あなたは、生涯学習活動で身につけた知識や技能をどのように活かしていますか。(〇はいくつでも)

該当者 合計 (%ベース)	自分の趣 味の活動	自分の健 康づくり	家庭や日 常の生活	仕事や就 職	学習やス ポーツ、 文化活動 などの指 導	ボラン ティア活 動	学校支援 活動	地域での 活動	その他	活かして いない	無回答	
*** 全体結果 ***	499 100.0%	281 56.3%	269 53.9%	172 34.5%	143 28.7%	32 6.4%	71 14.2%	15 3.0%	59 11.8%	9 1.8%	10 2.0%	6 1.2%

問9 あなたが、生涯学習活動を行っていない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

該当者 合計 (%ベース)	健康や体 力に不安 がある	費用がか かりすぎ る	必要な情 報(内容・時 間・場所・費 用など)が なかなか 入手でき ない	一緒に学 習や活動 をする仲 間がない	身近など ころに施 設や場所 がない	自分に あった学 習内容の 講座や教 室などが ない	学習を行 う時期や 時間が合 わない	仕事が忙 しくて時 間がない	家事・育 児・介護 などが忙 しくて時 間がない	きっかけ がつかめ ない	必要を感 じない・ 興味があ らない	その他	
*** 全体結果 ***	579 100.0%	98 16.9%	79 13.6%	114 19.7%	67 11.6%	62 10.7%	53 9.2%	103 17.8%	201 34.7%	94 16.2%	169 29.2%	127 21.9%	22 3.8%

該当者 合計 (%ベース)	無回答	
*** 全体結果 ***	579 100.0%	37 6.4%

問10 あなたは、今後、生涯学習活動を行いたいと思いますか。(〇は1つだけ)

	合計 (%ベース)	行いたい と思う・今 後も続け たい	気持ちは あるが、 いろいろ な事情で できない と思う	行いたい とは思わ ない	無回答
*** 全体結果 ***	1,081 100.0%	615 56.9%	242 22.4%	195 18.0%	29 2.7%

問11 あなたが、今後、生涯学習活動を行うとしたら、どのような内容に関心がありますか。(〇はいくつでも)

該当者 合計 (%ベース)	趣味など を楽しん だり、技 能を深め たりする もの(音 楽、手 芸、茶 道、書道 など)	スポー ツ・レクリ エーション (球技、 ダンス、 ハイキン グ、格技 など)	健康の維 持や管理 に関する もの(健 康法、ヨ ガ、看護 や介護法 など)	文化・教 養的なも の(歴 史、文 学、演 劇、文 芸、語学 など)	職業上必 要な知 識、技術 に関する もの(仕 事に関係 する知 識・技 術、ハン コン操作 など)	社会問題 や社会の 変化に対 応するも の(経 済、人 権、男女 共同参画 など)	地域社会 の理解や 振興に関 するもの (まちづく り、伝統 芸能、自 然環境な ど)	子育てや 教育に関 するもの (家庭教 育、幼児 教育、教 育問題な ど)	家庭生活 の向上に 関するも の(料理・ 編み物・ 園芸・日 曜大工な ど)に関する 知識や 技術、消 費生活な ど)	その他	無回答	
*** 全体結果 ***	857 100.0%	431 50.3%	373 43.5%	372 43.4%	254 29.6%	229 26.7%	68 7.9%	135 15.8%	96 11.2%	312 36.4%	14 1.6%	27 3.2%

問12 あなたが、今後生涯学習活動を行うとしたら、どのような方法を希望しますか。(〇はいくつでも)

該当者 合計 (%ベース)	公民館や 生涯学習 センター・ 図書館が 主催する 学級・講 座など	上記以外 の市や県 が主催す る学級・ 講座など で	学校(大 学・専門 学校な ど)の講 座など	コミュニ ティ協 会やPT Aなど地 域の団体 が行う講 座など	カル チャーセ ンターや スポーツ クラブな どの民間 の教室や 講座など	自主サー クル・グ ループ活 動など	通信教育	本や新 聞、テレ ビ・ラジ オなどの 利用	パソコン やイン ターネッ ト	個人教室 (習い事 など)	その他	無回答	
*** 全体結果 ***	857 100.0%	395 46.1%	220 25.7%	138 16.1%	86 10.0%	319 37.2%	190 22.2%	92 10.7%	240 28.0%	187 21.8%	149 17.4%	16 1.9%	39 4.6%

問13 あなたは、生涯学習活動を行うとしたら、どのような情報があったらよいと思いますか。(〇はいくつでも)

合計 (%ベース)	講座や催 し物など の案内	指導者や 講師の紹 介や依頼 方法	グループ や団体の 活動内容	学習の相 談窓口	施設の内 容や利用 方法	学習にか かる費用	資格の種 類や取得 方法	その他	特にな い	無回答	
*** 全体結果 ***	1,081 100.0%	646 59.8%	239 22.1%	300 27.8%	114 10.5%	370 34.2%	385 35.6%	216 20.0%	9 0.8%	174 16.1%	58 5.4%

問14 あなたは、生涯学習活動を盛んにするために、新潟市は何に力を入れたらよいと思いますか。(〇は3つまで)

合計 (%ベース)	利用でき る施設の 数を増や す	施設の設 備・備品 を充実さ せる	学校施設 をもっと 地域に開 放する	専門的な 知識を持 つ職員を 多く配置 する	講座や行 事、イベ ントを増 やす	講座の内 容を充実 させる	講座や事 業などの 広報を充 実させる	インター ネットに よる情報 提供を充 実させる	住民の ニーズや 満足度な どを把握 して、施 策に反映 させる	リーダー を育成す る	ボラン ティア活 動を支援 する	グループ や団体等 の自主的 な活動を 支援する	
*** 全体結果 ***	1,081 100.0%	386 35.7%	182 16.8%	127 11.7%	99 9.2%	296 27.4%	251 23.2%	296 27.4%	157 14.5%	156 14.4%	48 4.4%	82 7.6%	107 9.9%

合計 (%ベース)	学んだ成 果が地域 の活動に 活かせる 機会を増 やす	その他	特にな い	無回答	
*** 全体結果 ***	1,081 100.0%	134 12.4%	43 4.0%	145 13.4%	59 5.5%

問15 あなたのお住まいの地域は住みやすいと思いますか。(〇はひとつだけ)

	合計 (%ベース)	そう思う	そうは思 わない	どちらとも 言えない	無回答
*** 全体結果 ***	1,081 100.0%	661 61.1%	99 9.2%	297 27.5%	24 2.2%

問16 あなたは、お住まいの地域にどのような課題があると思いますか。(〇はいくつでも)

	合計 (%ベース)	住民同士の交流が 少ない	町内会や 自治会な どの活動 が活発で ない	商店街な どが衰退 している	地域の伝 統芸能や 祭りを継 承してい く後継者 がいない	まちの安 全や防災 に不安が ある	環境が損 なわれて いる	高齢者に 対して支 え合いが 少ない	障がい者 に対して 支え合い が少ない	子育てに 対して支 え合いが 少ない	子どもの 居場所が 少ない	子どもと 大人との 関わりが 薄れてい る	その他
*** 全体結果 ***	1,081 100.0%	343 31.7%	161 14.9%	410 37.9%	99 9.2%	185 17.1%	62 5.7%	175 16.2%	75 6.9%	82 7.6%	177 16.4%	187 17.3%	68 6.3%

	合計 (%ベース)	特に課題 はない	無回答
*** 全体結果 ***	1,081 100.0%	159 14.7%	47 4.3%

問17 あなたは、社会活動に参加していますか。(どちらかに〇。具体例は問18の活動内容を参考にしてください。)

	合計 (%ベース)	参加して いる	参加して いない	無回答
*** 全体結果 ***	1,081 100.0%	264 24.4%	805 74.5%	12 1.1%

問18 あなたが参加している社会活動は何ですか。(〇はいくつでも)

	該当者 合計 (%ベース)	文化・芸 術に関わ る活動	スポー ツ・健康 づくり に関わ る活動	高齢者・ 障がい 者・子育 てなど の福祉 に関わ る活動	地域行事 に関わ る活動	青少年育 成に関わ る活動	学校支援 に関わ る活動(学 校支援ボ ランティア ・サー フティ ス タッフ など)	子どもの 読書活動 推進に関 わる活動 (絵本の 読み聞か せ・ブッ ク スタート ボラン ティア など)	防犯・防 災・交通 安全に関 わる活動	災害救援 活動	環境保 護・環境 美化に関 わる活動	人権擁護 に関わ る活動	国際交流 に関わ る活動
*** 全体結果 ***	264 100.0%	43 16.3%	58 22.0%	44 16.7%	125 47.3%	18 6.8%	45 17.0%	7 2.7%	50 18.9%	14 5.3%	61 23.1%	2 0.8%	7 2.7%

	該当者 合計 (%ベース)	その他	無回答
*** 全体結果 ***	264 100.0%	10 3.8%	1 0.4%

問19 あなたが、社会活動に参加したきっかけは何ですか。(〇はいくつでも)

該当者 合計 (%ベース)	講座等を通じて興味・関心を持ったから	団体やグループ・サークル活動を通じて	学校時代の経験を通じて	身近な人の介護・支援に関わった経験を通じて	ポスターやチラシ、広報紙などを見て	テレビやラジオ、新聞などから	学校からの配布物を見て	インターネットを見て	知人や団体からお誘いされたから	友達に誘われたから	地域や社会をよりよくしたいから	大災害が起こったから	
*** 全体結果 ***	264 100.0%	21 8.0%	78 29.5%	14 5.3%	18 6.8%	23 8.7%	14 5.3%	17 6.4%	7 2.7%	99 37.5%	40 15.2%	76 28.8%	8 3.0%

該当者 合計 (%ベース)	自分のためになると思ったから	その他	無回答	
*** 全体結果 ***	264 100.0%	79 29.9%	17 6.4%	1 0.4%

問20 あなたが、社会活動に参加してよかったと思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

該当者 合計 (%ベース)	共通の目的を持つ人との交流が深まった	住民どうしやさまざまな世代で交流することができた	他人から喜ばれた	地域や社会の役にたった実感があった	自分の成長を感じられた	生きがいを感じるようになった	地域や社会への関心が高まった	地域の連帯感が深まった	地域が活性化した	その他	よかったことは特にない	無回答	
*** 全体結果 ***	264 100.0%	142 53.8%	104 39.4%	67 25.4%	86 32.6%	56 21.2%	68 25.8%	73 27.7%	49 18.6%	16 6.1%	4 1.5%	11 4.2%	1 0.4%

問21 あなたが、社会活動に参加していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

該当者 合計 (%ベース)	自分の知識や力が不足している	仲間がいない	人間関係が負担がある	健康や体力に不安がある	世話を必要とする家族(小さい子どもや高齢者など)がいる	費用がかかりすぎる	身近に活動の場がない	活動するための情報が少ない	希望する活動がない	身近に指導者がいない	忙しくて時間がない	必要を感じない・関心がない	
*** 全体結果 ***	805 100.0%	224 27.8%	175 21.7%	172 21.4%	149 18.5%	137 17.0%	31 3.9%	107 13.3%	208 25.8%	71 8.8%	30 3.7%	353 43.9%	147 18.3%

該当者 合計 (%ベース)	その他	無回答	
*** 全体結果 ***	805 100.0%	30 3.7%	15 1.9%

問22 あなたは、今後、社会活動に参加したいと思いますか。(〇は1つだけ)

合計 (%ベース)	参加したいと思う・今後も続けたい	参加したいが、いろいろな事情でできないと思う	参加したいと思わない	無回答	
*** 全体結果 ***	1,081 100.0%	352 32.6%	369 34.1%	325 30.1%	35 3.2%

問23 あなたが、今後参加するとしたら、どのような活動に関心がありますか。(〇はいくつでも)

	該当者 合計 (%ベース)	文化・芸術に関わる活動	スポーツ・健康づくりに関わる活動	高齢者・障がい者・子育てなどの福祉に関わる活動	地域行事に関わる活動	青少年育成に関わる活動	学校支援に関わる活動(学校支援ボランティア・セーフティスタッフなど)	子どもの読書活動推進に関わる活動(絵本の読み聞かせ・ブックスタートボランティアなど)	防犯・交通安全に関わる活動	災害救援活動	環境保護・環境美化に関わる活動	人権擁護に関わる活動	国際交流に関わる活動
*** 全体結果 ***	721 100.0%	188 26.1%	294 40.8%	190 26.4%	199 27.6%	51 7.1%	91 12.6%	70 9.7%	103 14.3%	81 11.2%	130 18.0%	23 3.2%	50 6.9%

	該当者 合計 (%ベース)	その他	無回答
*** 全体結果 ***	721 100.0%	8 1.1%	28 3.9%

問23-(付問) 「6 学校支援に関わる活動」と答えた方にお聞きします。それはどのような活動ですか。(〇はいくつでも)

	該当者 合計 (%ベース)	学校支援ボランティア(学習支援、学校環境整備活動、登下校中の子どもの見守り活動など)	ふれあいスクールボランティア(放課後の子どもたちの活動の見守りなど)	その他	無回答
*** 全体結果 ***	91 100.0%	65 71.4%	41 45.1%	11 12.1%	1 1.1%

問24 あなたが、社会活動に参加するうえで、大切だと思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

	合計 (%ベース)	時間のゆとり	自分の力量を高める学習機会	一緒に活動する仲間・友人	健康・体力	保育・託児の場	活動費用	活動の場	活動するための情報	指導者・リーダーの存在	家族の理解や協力	勤め先の理解や協力	その他
*** 全体結果 ***	1,081 100.0%	638 59.0%	173 16.0%	501 46.3%	530 49.0%	53 4.9%	190 17.6%	217 20.1%	288 26.6%	175 16.2%	283 26.2%	189 17.5%	18 1.7%

	合計 (%ベース)	特になし	無回答
*** 全体結果 ***	1,081 100.0%	56 5.2%	29 2.7%

問25 あなたは、市民が社会活動に参加しやすくなるために、新潟市は何に力を入れたらよいと思いますか。(〇は3つまで)

	合計 (%ベース)	社会活動 などの情報 に関する広報を 充実する	社会活動 のための 人材養成 講座を充実 する	市民と行政 の協働を 強化する	社会活動 のために 利用できる 施設を増やす	学校施設 をもっと 地域に開放 する	社会活動 についての 相談窓口を各 区に設置する	市民活動 支援センター を周知すると ともに、使 いやすさを 向上する	社会活動 に参加し やすい環 境をつくる ため、行政 から企業に 働きかける	その他	無回答
*** 全体結果 ***	1,081 100.0%	619 57.3%	219 20.3%	205 19.0%	256 23.7%	143 13.2%	124 11.5%	245 22.7%	231 21.4%	35 3.2%	116 10.7%

問26 新潟市の生涯学習に関するおこな施策の中で知っているものはありますか。(〇はいくつでも)

	合計 (%ベース)	家庭教育 学級(ブレ マママ学 級、ゆり かご学 級、幼児 期・児童 期・思春 期家庭教 育学級、 父親学 級)	子育てサ ロン(乳 幼児の親 子の居場 所)	1歳児へ のブック スタート ボラン ティア(歯 科検診時 の絵本の 読み聞か せと絵本 の無料配 布)	図書館や 学校など での絵本 の読み聞 かせボラ ンティア	子どもふ れあいス クール事 業(放課 後や土曜 日、学校 を活用し た子ども と地域の 大人との 交流)	地域と学 校パート ナーシッ プ事業 (地域と 学校、公 民館・図 書館など が一体と なった教 育活動)	地域と学 校を結ぶ 地域教育 コーディネ ーター (全小・中 学校、中 等教育学 校、特別 支援学校 で活動)	学校支援 ボラン ティア(学 習支援、 学校環境 整備活 動、登下 校中の子 どもたち の見守り 活動など)	家族のふ れあい アップ運 動(ゲー ムなどと の付き合 い方を 見直し、 家族で 過ごす 時間を 増やす 活動)	若者支援 センター での若者 支援事業	青少年の 居場所 (公民館 のロビー 等を活用 した子 どもの居 場所)	公民館出 前型ふれ あいス クール (学校の 教室等 を活用 した地 域住民 向け講 座)
*** 全体結果 ***	1,081 100.0%	256 23.7%	247 22.8%	95 8.8%	406 37.6%	165 15.3%	83 7.7%	158 14.6%	338 31.3%	22 2.0%	89 8.2%	77 7.1%	35 3.2%

	合計 (%ベース)	学校開放 事業	図書館の 読書普及 事業(図 書貸出・ 講演会・ 講座な ど)	図書館で のレファ レンス サービス (身近な 疑問の解 決や調査 研究に必 要な情報 収集への 支援)	にいがた 市民大学	生涯学習 ボラン ティアバ ンク	無回答
*** 全体結果 ***	1,081 100.0%	230 21.3%	229 21.2%	35 3.2%	363 33.6%	40 3.7%	257 23.8%

(付) 調査票様式